	款・項・目	10 • 1 • 1	目名称 教育委員会費			目の決算額	109,	003, 113				
190	事務事業名称								190			
事業の 大府市奨学金支給事業 東京214(千円) 8.054 【うち人件費 1.808 うち減価償却費 75 対象 (何を、誰を対象として) 奨学生 目指す成果 (対象をどのようにしたいのか) 学業に必要な資金を保護者に援助することにより、教育の機会均等が確保されて 指標名 特和6年度実核値 令和6年度実核値 今和6年度実核値 今和6年度実核値 学業に必要な資金を保護者に援助することにより、教育の機会均等が確保されて 接字金基金の年度末機高 146.075 財際 接別の工事 1 就学支援体制の充実 経済的な理由によって就学困難な生徒について、教育機会の均等や、将来社 成を図るため、奨学金を支給しました。 2 支給対象者 次のいずれにも該当するものとしています。 (1) 本市に住所を有し、学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する高等学 後期課程又は高等専門学校に進学又は在学するもの (2) 経済的理由で修学困難なもの (3) 心身ともに健全で品行方正、学力良好なもの 3 支給額 月額16,000円(年額192,000円) ※R4までは月額15,000円(年額180,000円物価高騰等が家計に与える影響を踏まえ、支給額を拡充し、支援体制の充実 英治期間	賞却費 77]									
	対象(何を、	誰を対象と	して)									
事業の	奨学生											
		(対象をどの	ようにしたいのか)									
	学業に必要な	資金を保護	者に援助することにより	、教育の機会均等	等が確	保されてい	ます。					
		指标	票名	令和6年度実績個	直/	令和6年度	計画値	単	鱼位			
11 1 =				146, 075	/	44	1, 300	千円				
指標	奨学金の年間	支払回数		3	/		3	回				
					/							
	経済的な理由によって就学困難な生徒について、教育機会の均等や、将来社会に役立つ人材の育											
				- : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	8 +	・2古体出出		· ** ** **	ı+÷			
					況正 9	る局寺子校	、中专	教育子	校の			
	月額16,000円(年額192,000円) ※R4までは月額15,000円(年額180,000円)											
	対領10,000円(年銀192,000円) ※N4までは月銀15,000円(年銀160,000円) 物価高騰等が家計に与える影響を踏まえ、支給額を拡充し、支援体制の充実を図りました。											
宝施												
	奨学金の支給を開始したときから奨学生が在学する学校の正規の修業期間を終了するときまで。											
	新規申請											
	令和7年度奨学金支給対象者37人(新規支給決定者数+支給継続者数)											
	支給総額	Į	R4: 4, 500, 000円 R5:	5, 760, 000円 R6	5 : 5, 9	952, 000円						
		数字の機	今た松竿にようスセルに	土 级这奶珊市厅	- + ^	て攸党団器	ナ た / → 〈土	の伊業	老に計			
	妥当性評価				- よう	で子凶無	は土阪	い 木퍊	日に刈			
事業の	,	経済的な	 負扣を軽減することによ	り、将来社会に名	分分つ	有用かしお	の育成	に客与	ナる. -			
	▌ 有効性評価 ▌			7、四本社五四	<u>,</u> J	日川の八門	・・・日水	ᇧᆫᇚᄀ	, ₀ _			
	±1 == 1==	<u> </u>	-++ ミー! - ! !! * **	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	F 1 ±							
	郊半性評価 	字期ごと	に文払つことにより事務	の効率化を図りま	にした	0						
		•		左の財法	原内部	₹						
車 柴 弗			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源			
尹未貸	105, 96	5, 500				5, 952, 000						
			0	0	(基金	5, 931, 198	3)	100, 01	3, 500			

	款・項・目	10・1・3 目	名称 学校教育総務費			目の決算額	756, 4	404, 236			
191	事務事業名称 国	国際交流教育	——■ 香推進事業						191		
	事業コスト(千円)	62, 802	【うち人件	·費 4,027 う	ち減価値	賞却費 171		1			
	対象(何を、記	誰を対象とし	して)								
事業の	児童生徒										
目的		対象をどのよ	ようにしたいのか)								
	児童生徒の外国	国語への興味	未・関心が高まるとと	: もに、国際理解が	架まっ	ています。					
		指標	名	令和6年度実績	直/	令和6年度記	十画値	単	鱼位		
評価	英語検定受検料	料補助金申請	青者数 (市による受検	食料 439			572	人			
指標	負担分含む)			439			372	^			
	中学生海外派员	遣事業応募者	旨数	115	/		95	人			
	1 外国語活動における英語教育の充実										
	英語教育や	や外国語活動	めの充実を図るために	英語指導助手(A	LT)	を配置しま	した。				
	配置人数 R4:9人 R5:9人 R6:9人 配置日数 R4:1,739日 R5:1,673日 R6:1,764日										
	2 外国人児童生徒への支援										
	(1) 日本語指導が必要な外国人児童生徒(母語:ポルトガル語、スペイン語、中国語、タガログ										
	語、ベトナム語、インドネシア語、モンゴル語、ネパール語)を対象に、小中学校に母語										
	を話せる日本語・母語指導員を派遣し、学校生活に適応できるよう支援しました。										
	また、学校便り等の翻訳を実施しました。										
	支援が必要な外国人児童生徒数 R4:95人 R5:105人 R6:109人(毎年度5月1日時点)										
	派遣講館	師人数 R4:	: 9人 R5:9人 R6:	10人							
	派遣時間	間 R4:601	時間 R5:488時間	R6:494時間							
	学校便「	り等翻訳延へ	×枚数 R4:22枚(4:	か国語) R5:25枚	(4か	国語) R6:	60枚	(7か国	語)		
実施	(2) 日本語指導が必要な児童生徒が在籍している小中学校に、企業の寄附等により導入した携帯型										
内容	音声翻訳機(ポケトーク)11台を活用し、児童生徒への指導、家庭との意思疎通を円滑に行うこ										
	とができました。										
	(3) 日本語がほとんど理解できない外国人児童生徒を対象に、集中的に専門的な日本語の基礎指導										
	を行う日本語初期指導教室を開設し、基礎的な日本語の会話や文法の能力を早期に習得させ、学										
	校への適応や、その後の日本語学習の基礎力の獲得を支援しました。										
		対象児童生徒数 R4:20人 R5:25人 R6:34人									
	講師人数		4: 2人 R5: 2人			_					
	指導時間 R4:1,069時間 R5:1,024時間 R6:1,056時間										
		外派遣事業	»-:	- 	226_1_1	0 0-4-	. –		_		
			^{祭感覚の豊かな人材を}	て育成するために、「	平字校	(2、3年生を)	オース	トフリ	<i>y</i> ~		
	派遣しました		> 0 = 00 = + = 0 = 0		· 4± 00	I #4-2/I					
		8月13日か	ら8月22日までの8日	间 派追人数 生	近20,	人、教貝4人					
		学 羽化岩带	5名に甘べいて 口立	ナナキが以回の言語は	ムナル	ニついナル	全大 字	ドナ珊	砚大师		
	妥当性評価		見領に基づいて、児童 日なコミュニケーショ								
事業の		外国人旧辛		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	五指	日の派遣な7	'\`□+	=五 ½π 廿P	 -		
事業の評価	有効性評価		し、学校生活に適応					面似粉	旧等软		
			 b手(ALT)の派遣	業務を3年間同じ業	オレミ	四約すること	で 3	■■■			
	効率性評価		できました。	.不切で○十同門 0木	<u>п</u> С 7	(4) / O C C	~ · =	コハマノス	. → ID C		
				左の財	源内訴	1					
市 ** **			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源		
事業費	58, 147, 568					2, 738, 350					
			1, 280, 000	0	(基金	2, 738, 350)	54, 12	29, 218		

	款・項・目	10・1・3 目	名称 学校教育総務費	
191	事務事業名称	国際交流教育	推進事業	191
	事業コスト(千円)			

4 英語検定受検料の補助等(基金2,738,350円)

児童生徒の英語力及び学習意欲の向上を図ることを目的に、英検3級以上を受検する小中学生の 保護者に対し、受検料の1回分の補助金を交付しました。

平成30年度から大府市役所に英検3級試験会場を設け、受検料を市が負担することにより、中学生の受検機会の確保に努めました。

また、令和5年度から新たに、英語力の向上及び高等学校等卒業後の進路選択の支援を図ることを目的に、英検2級以上を受検する高校生の保護者に対し、高校在学中に1人1回に限り、受検料の半額分の補助金を交付しました。

更に、準1級以上の級に合格した中学生、準2級以上の級に合格した小学校4~6年生及び3級以上の級に合格した小学校1~3年生の表彰制度を設け、大府市の姉妹都市であるオーストラリアのポート・フィリップ市にちなんで、「ミモザ賞」を授与しました。

補助金交付人数 R4:272人 R5:325人 R6:298人

R6補助金交付内訳 1級 4人、準1級 24人、2級 66人、準2級 96人、3級 108人

大府市役所会場受検者数 R4:176人 R5:156人 R6:141人 (R6.9.28実施)

英語検定成績優秀者表彰 開催日: R7.2.8 場所: 愛三文化会館

※文化・スポーツ活動表彰式及び教育表彰式の中で実施

表彰人数 41人

R6表彰内訳 1級 0人、準1級 6人、2級 7人、準2級 22人、3級 6人

5 セントキルダ小学校交流事業

姉妹校提携を結んでいるセントキルダ小学校(オーストラリア)と石ヶ瀬小学校の相互交流について、石ヶ瀬小学校への来訪に際して交付金を交付して支援しました。

実施 内容

	款・項・目	10・1・3 目	名称 学校教育総務費	·		目の決算額	756,	404, 236			
192	事務事業名称								192		
' -	事業コスト(千円)			÷費 8, 795 う	ち減価値	賞却費 2,125]			
	対象(何を、	誰を対象とし									
	児童生徒(東	海市への委託	モ児童を含む)								
事業の 目的	目指す成果(対象をどのよ	ようにしたいのか)								
日的	均等に教育を	受ける機会な	が維持され、小中学校	交連携活動が円滑に	推進さ	れ児童生徒の	の能力	向上や	創造性		
	の育成が促さ	れています。									
		指標	!名	令和6年度実績(直/	令和6年度記	画値	単	単位		
評価	きらきらチャ	レンジの参加	µ率(小学校)	75	i /		90	%			
指標	教育活動に関	する補助金、	交付金の交付事業数	女 5	i /		5	事業			
	数学検定受検	料補助金申請	青者数	35	j /		61	人			
	1 東海市への児童委託の実施										
	通学距離、通学時間を短縮し、児童の通学の安全を確保するため、学校教育法第40条の規定によ										
	り教育事務を東海市に委託しました。 (加木屋南小学校22人、三ツ池小学校33人)										
	委託児童数 R4:48人 R5:52人 R6:55人										
委託金額 R4:9,929,904円 R5:12,864,332円 R6:18,017,835円 2 教育活動を支援するための各種交付金事業の実施											
	交付金支	給額のうちR	4は周年事業交付金5	00, 000円を含みます	•						
	(1) 小中学	校の教育活動	動において、児童生徒	もの学習意欲の向上·	や創造	性を育てる	ため、	特別支	援		
		付金を交付し									
			つくわく展」 開催日		場所:	おおぶ文化	交流の)杜allo	obu		
実施			5:130,000円 R6:1								
内容			寸金を交付し、教職員 		職員の	資質向上を[図りま	ミした 。			
			R5:5,496,250円 R		.						
			図るため、小中学校 F		助金を	交付しました	た。				
			:100,000円 R6:1			11L1+1		- 40 / - 			
			重携教育の指針「きら	_							
			らきらチャレンジ等) も」の実現を図るたぬ								
			5:100,000円 R6:1		厉胜進	尹未又刊立	ZXI.		,120		
			・ 100,000円 100 : 1 生の文化芸術への興味		レ ±.1-	古仝体の	ナルコ	-動の塩	調を図		
			こ新設した大府ジュニ		_				—		
	を交付し		こが成じた人間クエー		1071	J, / /	п п	⊒ /L ≠/) ¿	∠ 13 <u>w</u>		
		0,000円									
		.,									
	57 M Lt. == 1==	通学距離や	ー ・通学時間の観点から	、東海市に隣接する	る吉田	 小学校の诵 ⁵	学区域	の児童	の就学		
	妥当性評価		- 委託することは市か								
事業の	大 热性冠体	教育活動に	 ニ関する補助金、交付	ナ金の交付やスクー <i>ル</i>	レロイ	ヤーの設置に	こより	、市内	小中学		
評価	有効性評価	校の教育活	舌動を支援することが	べきました。							
	効率性評価		D児童委託、各種交付		呆児小	中連携教育	(きら	きら)	の推進		
	が十二計画	に掛かるコ	1ストは、事業量に見 	合っています。							
				左の財	源内訳		1				
事業費			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源		
,,,,,,,	65, 770, 151					141, 400					
			3, 074, 500	0	(基	金141, 400)	62, 55	54, 251		

	款・項・目	10 • 1 • 3	目名称	学校教育総務費	
192	事務事業名称	学校総務管	理事業		192
	事業コスト(千円)				

3 スクールロイヤーの配置

学校が児童生徒を取り巻く問題について相談し、こどもの最善の利益の観点から法的アドバイス を受けるための弁護士を配置しました。

4 数学検定受検料の補助(基金141,400円)

児童生徒の学力及び学習意欲の向上を図ることを目的に、数検3級以上を受検する小中学生の保護者に対し、受検料の1回分の補助金を交付しました。

また、準2級以上の級に合格した中学生及び3級以上の級に合格した小学生の表彰制度を設け、数学の巨人と呼ばれる大府市出身の数学者にちなんで、「永田雅宜賞」を授与しました。

補助金交付人数 R4:33人 R5:35人 R6:32人

R6補助金交付内訳 1級 0人、準1級 1人、2級1人、準2級 2人、3級 28人

数学検定成績優秀者表彰 開催日: R7.2.8 場所: 愛三文化会館

※文化・スポーツ活動表彰式及び教育表彰式の中で実施

表彰人数 2人

R6表彰内訳 1級 0人、準1級 1人、2級 0人、準2級 0人、3級 1人

5 学校ウェブサイトの更新

小中学校のウェブサイトを管理する学校ウェブサイトシステムについて、新たなシステムに更新 しました。

6 「ラーケーションの日」の実施

新しい学び方・休み方を推進するため、愛知県のモデル事業に参加し、会計年度任用職員を 配置しました。

配置数 R5:13人 R6:13人

取得可能日数 R5:年2日(R5年10月から) R6:年3日

7 学校徴収金等口座振替システムの変更

学校給食費等の口座振替システムについて、対象金融機関の拡大などより利便性の高いシステム に変更しました。

内容

実施

193		款・項・目	10・1・3 目	名称 学校教育総務費		Т	目の決算額	756	404, 236				
事業の	193						H -	,	,	193			
別象 (何を、誰を対象として)	100				·	ち減価値	当却者 516	ます 値 単位 1000 % 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校 校					
日前 日前		対象(何を、	誰を対象とし						-				
目指す成果 (対象をどのようにしたいのか) 全での児童生徒が、いつでも相談ができ、学校生活に支障なく教育が受けられています。	車業の												
### 全ての児童生徒が、いつでも相談ができ、学校生活に支降なく教育が受けられています。	ナベツ		(対象をどの a	ようにしたいのか)									
#補稿名					を生活に支障なく教育	査が 受	けられてい	ます。					
1						_			単	单位			
18	証価	「いじめはと	んな理由があ		:								
1 総合的な長期欠席者支援(おおぶレインボーブラン)の推進 児童生徒ー人ー人が抱える、多様で複雑な背景を適切に把握し、個々の状況に応じた学校内外での 環境づくりや各種相談体制の充実を図りました。 (1) 学校内における居場所の充実 校内教育支援室の設置校 R5:4中学校 R6:4中学校 養護教諭補助員の配置 配置人数 R5:養護教諭2人配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 (2) 学校外における居場所の充実 レインボーハウス在籍者数(毎年度3月末時点)R4:35人 R5:38人 R6:45人 長間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース登録者数(毎年度3月末時点) R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカース・バーバイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との選携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 マンサビニの支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への 変援は市が実施すべき事業です。 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒へ の支援は市が実施すべき事業です。 本の財源内部 本の対域の経域又は解消につながりました。 の本性評価 関本を受けることで、個々に合うなりました。 の支援は市が実施すべき事業です。 本の対域の配置が発動員及び支援員による 支援員の配置や長期欠席児童生徒へ の支援は市が実施すべき事業です。 本の対域の配置が発動員及び支援員による 支援員の配置でや長期欠席児童生徒へ の支援は市が実施すべき事業です。 本の対域の配置が表された。 本の対域の配置が表されたる相談や補助員及び支援員による 支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場 が単位がのの経域又は解消につながりました。 よの対域の配置は、各学校の要望の把握、現場 が単位がのの経域では解消につながりました。 よの対域の配置は、各学校の要望の把握、現場 本の対域の記述を考えたる。 本の対域の配置が表するを対してきました。 本の対域の配置が表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述を表する、表述の記述を表する、表述の記述を表する、表述を表する、表述の記述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表する、表述を表述を表述を表する、表述を表述を表述を表述を表する、表述を表述を表する、表述を表述を表する、表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表述を表	110 1 24	回答した生徒	色の割合	_	95. 7	/		100	%				
児童生徒一人一人が抱える、多様で複雑な背景を適切に把握し、個々の状況に応じた学校内外での環境づくりや各種相談体制の充実を図りました。 (1) 学校内における居場所の充実校内教育支援室の設置校 R5: 4中学校 R6: 4中学校 養護教諭組別員の配置 配置人数 R5: 養護教諭紀入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教諭紀入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教諭紀入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教諭紀入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教諭紀入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教諭紀入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教諭経入配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教育を持ち、R6: 45人 R6: 45人 R6: 174 R6: 45人 R6: 41人 R8支援体制の充実 かの教室相談員 相談件数 R4: 1, 116件 R5: 956件 R6: 989件 スクールカウンセラー 相談件数 R4: 1, 700件 R5: 1, 661件 R6: 1, 574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4: 71人 R5: 109人 R6: 130人 スクールソーシャルワーカースーパーパイズ 実施回数 R6: 5回 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6: 12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回: R6: 7, 12 第2回: R7. 2. 7 (7) 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7. 3. 17 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 本の財源内訳 単文性評価 か身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場衛建設をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 たの財源内訳		通級指導教室	医の設置校数		13	/		13	校				
環境づくりや各種相談体制の充実を図りました。 (1) 学校内における居場所の充実 校内教育支援室の設置校 R5: 4中学校 R6: 4中学校 養護教論補助員の配置 配置人数 R5: 養護教論之凡置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 R6: 養護教論社人配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 (2) 学校外における居場所の充実 レインボーハウス在籍者数(毎年度3月末時点)R4:35人 R5:38人 R6:45人 民間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース全録者数(毎年度3月末時点)R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件 スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカースーパーパイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 事業の 評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒へ の支援は市が実施すべき事業です。 で放実に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 事業の 評価 効率性評価 か身に呼がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒へ の支援は市が実施すべき事業です。 を放っている場合に対しているといる場合に対しているといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい		1 総合的な		 5援(おおぶレインホ	<u></u> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
(1) 学校内における居場所の充実 校内教育支援室の設置校 R5:4中学校 R6:4中学校		児童生徒	も と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	包える、多様で複雑な	*背景を適切に把握	し、値	々の状況に	応じた	学校内	外での			
校内教育支援室の設置校 R5:4中学校 R6:4中学校 養護教諭補助員の配置 配置人数 R5:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:表替表 (毎年度3月末時点) R4:35人 R5:38人 R6:45人 民間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実メタバース登録者数 (毎年度3月末時点) R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,100件 R5:1,661件 R6:1,574件スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人スクールソーシャルワーカース・パーパイズ 実施回数 R6:5回 地域における活動との連携座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17		環境づくり	りや各種相談体	は制の充実を図りまし	た。								
養護教諭補助員の配置 配置人数 R5:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 R6:養護教諭2人配置校 (石ヶ瀬小) を除く全8小学校 (2) 学校外における居場所の充実 レインボーハウス在籍者数 (毎年度3月末時点) R4:35人 R5:38人 R6:45人 民間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース登録者数 (毎年度3月末時点) R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件 スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカース・パーパイズ 実施回数 R6:5回 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17													
R6:養護教諭2人配置校(石ヶ瀬小)を除く全8小学校 (2) 学校外における居場所の充実 レインボーハウス在籍者数(毎年度3月末時点)R4:35人R5:38人R6:45人 民間フリースクール等の授業料補助R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース登録者数(毎年度3月末時点)R5:43人R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数R4:1,116件R5:956件R6:989件 スクールカウンセラー 相談件数R4:1,700件R5:1,661件R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数R4:71人R5:109人R6:130人 スクールソーシャルワーカースーパーパイズ 実施回数R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催第1回:R6.7.12第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ請演会+漫画家体験イラスト講座の開催R7.3.17 事業の 有効性評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への 通知や脳みの経滅と知識がしまった支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの経滅とは済用につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場 権認をするなどして見童しを行い、効率的に対応できました。 本の財源内訳 基定の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
(2) 学校外における居場所の充実 レインボーハウス在籍者数(毎年度3月末時点)R4:35人 R5:38人 R6:45人 民間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース登録者数(毎年度3月末時点) R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件 スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカースーパーバイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 事業の 評価 李校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒へ の支援は市が実施すべき事業です。 本規を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場権認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 本の財源内訳 基定の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
レインボーハウス在籍者数(毎年度3月末時点)R4:35人 R5:38人 R6:45人 民間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース登録者数(毎年度3月末時点)R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件 スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカースーパーパイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 事業の 育効性評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題が必の軽減又は解消につながりました。 カ事性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
民間フリースクール等の授業料補助 R6:17名 796,950円 (3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実 メタバース登録者数 (毎年度3月末時点) R5:43人 R6:41人 (4) 相談支援体制の充実 心の教室相談員 相談件数 R4:1,116件 R5:956件 R6:989件 スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカース・パーパイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 マ校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援は市が実施すべき事業です。 マ校生活の支援を必要とする児童生徒での補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援を必要とする児童生徒での補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援を必要とする児童生徒での補助員、支援員の配置で長期欠席児童生徒への支援を必要とする児童生徒での補助員、支援員の配置で長期欠席児童生徒への支援を必要とする児童生徒での補助員、支援員の配置で長期欠席児童生徒への支援を必要とする児童生徒での補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場権認会の軽減及は解消につながりました。													
(3) ICTを活用した相談支援・居場所の充実		レイン											
実施内容		民間フ	フリースクール	レ等の授業料補助 R	6:17名 796,950円	l							
(4) 相談女援体制の充実		(3) ICTを	活用した相談	支援・居場所の充実									
東施 内容		メタバ	バース登録者数	枚(毎年度3月末時点) R5:43人 R6:	41人							
内容		(4) 相談支	を援体制の充乳	Ę									
スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件 スクールソーシャルワーカー 支援人数 R4:71人 R5:109人 R6:130人 スクールソーシャルワーカースーパーパイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17													
スクールソーシャルワーカースーパーバイズ 実施回数 R6:5回 (5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	17.0	スクールカウンセラー 相談件数 R4:1,700件 R5:1,661件 R6:1,574件											
(5) 地域における活動との連携 座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 事業の 評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援は市が実施すべき事業です。 有効性評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源		スクー	ールソーシャル	レワーカー 支援人数	女 R4:71人 R5:1	09人	R6:130人						
座談会の実施回数 R6:12回 (6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17		スクー	-ルソーシャル	レワーカースーパーノ	バイズ 実施回数 F	R6 : 5[
(6) 切れ目のない支援に向けた関係機関との連携・情報交換・研究 長期欠席者教育支援会議の開催 第1回:R6.7.12 第2回:R7.2.7 (7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17		(5) 地域に	おける活動と	この連携									
事業の評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への表援とが表して見直しを行い、効率的に対するを受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 事業の評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援と市が実施すべき事業です。 有効性評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435		座談会	€の実施回数	R6:12回									
(7) 長期欠席への理解の促進 長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17		(6) 切れ目	のない支援に	こ向けた関係機関と <i>の</i>)連携・情報交換・積	研究							
長期欠席への理解の促進を図るため、虹の架け橋サポーターを任命しました。 長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17		長期久	て席者教育支持	爰会議の開催 第1回	: R6. 7. 12 第2回:	R7. 2.	7						
長期欠席に関するミニ講演会+漫画家体験イラスト講座の開催 R7.3.17 安当性評価		. ,											
事業の評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒への補助員、支援員の配置や長期欠席児童生徒への支援は市が実施すべき事業です。 有効性評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源								0					
事業の 評価 女子校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による 支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場 確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源		長期欠	は席に関する	ミニ講演会+漫画家体	応験イラスト講座の Ⅰ	開催	R7. 3. 17						
事業の 評価 女子校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による 支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場 確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
事業の 評価 女子校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による 支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場 確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
事業の 評価 女子校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による 支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場 確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
事業の評価 学校生活の支援を必要とする児童生徒が、有識者による相談や補助員及び支援員による支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源		妥当性評価				支援	員の配置や	長期欠	席児童	生徒へ			
事業の評価 有効性評価 支援を受けることで、個々に合った支援が可能となるうえ、保護者が抱える教育上の問題や悩みの軽減又は解消につながりました。 効率性評価 心身に障がいのある児童生徒への補助員、支援員の配置は、各学校の要望の把握、現場確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源						- <u>-</u> - Z	相談も薄助	昌功が	李 福昌	に よる			
対象性評価 対象性評価 対象性評価 対象性評価 対象性評価 対象性評価 対象性評価 対象をするなどして見直しを行い、対象的に対応できました。 対象の対象の対象を対象をするなどのでは、対象のに対応できました。 上の財源内訳 本の地 上の財源 上の財源 上の財源 上の地 上の地		有効性評価	支援を受け	ることで、個々に合	った支援が可能とな								
対学性評価 確認をするなどして見直しを行い、効率的に対応できました。 左の財源内訳 事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源	п⊤іЩ												
左の財源内訳 事業費 17 212 435 本の財源内訳 本の他 一般財源		効率性評価						の要望	の把握	、現場			
事業費 17 212 435 国県支出金 地方債 その他 一般財源	\vdash		P → P → P → P → P → P → P → P → P → P →										
17 212 435	事業 费			国但支出全		ルホドリ司ハ			—— 草び 日·	 大道			
	尹 本 共	17, 212	2, 435	189, 077	10万良)					

	款・項・目	10 • 1 • 3	目名称	学校教育総務費					
193	事務事業名称 児童生徒指導推進事業				193				
	事業コスト(千円)								

2 学校生活支援員の配置

特別支援学級補助員 R4:33人 R5:41人 R6:46人(週25時間勤務を1人として換算) 通常学級特別支援員 R4:10人 R5:10人 R6:12人(週25時間勤務を1人として換算) スクールライフサポーター R4:19.5人 R5:22人 R6:22人(週25時間勤務を1人として換算)

3 就学に関する援助

心身に障がいのある児童生徒及びその保護者を対象に、情報の提供や特別支援学級見学会、就学相談会を開催するなど、就学に関する支援を行いました。

就学相談等の開催回数 R4: 16回 R5: 16回 R6: 16回 相談人数 R4: 180人 R5: 180人 R6: 145人

4 通級指導教室の設置

県の教員配置に基づいて小中学校全校に通級指導教室を設置し、児童生徒の特性に応じた指導を行いました。

5 セルフディフェンス講座の開催 小学校4年生・中学校1年生を対象に、自分を大切にする心を育て、いじめや虐待、不審者対応等、 自分を守るための具体的な知識や技能を学びました。

6 いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題対策委員会の設置 いじめ問題対策連絡協議会:いじめ対策についての関連組織との連携 R6.10.9開催 いじめ問題対策委員会:いじめ防止対策や取組、重大事態発生時の調査審議 R6.7.12開催

実施 内容

主要事業No. 152 主要事業No. 152

	* 5 0	10 1 2	口欠状	计数本纵变曲				日の油笠短	756 /	104 006			
104				4枚教育総務負				日の沃昇領	750, 4	104, 236	194		
健康診断受診率 (児童生徒)]	194										
\vdash		,	・1 て)	I J S X H	- 貝 - 乙	, 400	つ減価	[月 月] 月 200		1			
= ** 0			. (()										
ナベツ			ようにし	したいのか)									
					舌が渦	ごせています	•						
	70						_	令和6年度計	+画値	道	 単位		
評価	健康診断受診	率(児童生	 E徒)			98.8	3 /		100	%			
	健康診断受診	率(教職員	į)			100) /		100	%			
	フッ化物洗口	実施率				100) /		100	%			
	1 児童生徒	及び教職員	の健康	診断の実施			•	•					
	小学生	R4: 5, 792	人	R5:5,762人	ı	86:5,699人							
	中学生	R4:2, 689人 R5:2, 668人 R6:2, 710人											
	合 計	F → 上											
	教職員 R4:486人(受診率100%) R5:509人(受診率100%) R6:519人(受診率100%)												
	2 教職員の	2 教職員のストレスチェックの実施											
	3 フッ化物	洗口の実施	<u> </u>										
	虫歯予防	iのため、フ	ッ化物法	洗口を小中学校	交全学:	年で週1回実施	しま	した。					
	R4:8,54	18人(実施率	ق100%)	R5:8,522人(実施率	100%) R6 :	8, 508.	人(実施率100)%)				
	4 教職員の	労働安全衛	生管理										
	教職員の	安全と健康	その確保(のため、教職員	安全	新生委員会を	設置し	/、学校産業[医によ	る施設	巡回		
内容	指導及びメンタルヘルス相談を実施しました。(石ヶ瀬小、大府中、大府北中は毎月単独実施)												
	教職員安全衛生委員会 R4:2回 R5:2回 R6:2回 施設巡回指導10回												
	メンタルヘルス相談 R4:0回 R5:1回 R6:0回												
	5 児童生徒	5 児童生徒を対象とした災害共済制度への加入											
	児童生徒	の学校管理	!下におり	ける事故等に対	対応す	るため、独立	行政法	大日本スポー	ーツ振	興セン	ター		
		の災害共済制度に加入し、保護者に対して災害給付事業を実施しました。											
				R5:1,185件	R6 :	, 076件							
			人配置校	き(石ヶ瀬小)	を除く	全8小学校							
			. Int 124 \	>4	~ _	4 F 44 1 - 7	51 -4 -4						
	-									_			
	美施内谷	* K4:総会	(2回 研	廖会Ⅰ回 R5 :	総会2	□ 研修会 □	K6 :	総会2回 研1	廖会Ⅱ	旦			
		学校保健	安全法に	こよって、児童	生徒	ひ数職員の	心身の	健康の保持地	曽進を	図るこ	とにつ		
	妥当性評価	いて必要	な措置を	を講ずるよう努	みる。	とが定めら	れてい	るため、学権	交の設	置者で	ある市		
事業の					- I - L	大大 一	首1- 1-		ア時間	理性の			
	有効性評価	有効性評価 安全衛生委員会の開催、産業医による施設巡回指導により、教職員の職場環境の改善を 図ることができました。									改善を		
		旧帝生结	あが数型	※昌の碑事診照	÷ ≱/₁ B	*************************************	全部 生	・ 毎 田 生 に 掛 4	ν Z ¬	7 1.1+			
	効率性評価				1、 软	吸臭い刀 倒女	上用工	. 白牡苷に出ん	ა. <i>•</i> 9 ⊣	ヘロは	、尹禾		
		l				左の財	源内部						
			国	県支出金		地方債		その他		一般則	 才源		
事業費	24, 300, 383												
				893, 000		0		3, 076, 805		20, 33	30, 578		

	款・項・目	10 · 2 · 1 E	目名称 学校管	· 理費				目の決算額	1, 412,	966 609		
195	事務事業名称 /							H	,,	,	195	
事目 評指 実で		645, 358		【うち人作	牛費 55,8	12	うち減価 [・]	償却費 3,2	281	1		
	対象(何を、記	生を対象と	して)							-		
	小学校		,									
	目指す成果(対	対象をどの。	ようにしたし	いのか)								
日的	多様な学習内容 3 様な学習内容	容、形態等!	こ対応した	数材を活.	用し、児:	童が安心し	して学習	゚゚するため	の環境が	「整備され	hて	
	います。											
		指標	票名		令和	16年度実績	責値 /	令和6年度	き計画値	単	位	
評価	学校図書標準冊	冊数充足率				111	.7 /		100	%		
	教育用タブレッ	ット1台当:	たりの児童	数			1 /		1	人/台		
	1 児童の健康管理											
	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の必要人数を確保し、児童の健康管理及び学校衛生管理を適											
	切に行いまし	ンた。										
	内科医 R4:25人 R5:27人 R6:27人 歯科医 R4:22人 R5:19人 R6:19人											
	薬剤師 R4: 9人 R5: 9人 R6: 9人											
	2 学校図書館の図書整備											
	学校図書館図書標準に基づき、図書の整備及び充実に努めました。											
	学校図書館	学校図書館蔵書数(年度末現在) R4:114,324冊 R5:115,483冊 R6:118,293冊										
	学校図書館	馆図書購入	冊数	R4 :	5, 439冊	R5 :	5, 327	7∰ R6	6: 5,0	™ 800	_	
	R6年度内訳	大府	大東	神田	北山	東山	共和西	共長	吉田	石ヶ瀬]	
	標準図書数	(A) 12, 5	60 10, 560	9, 560	12, 760	11, 760	13, 000	12, 360	9, 960	13, 360]	
	蔵書数	(B) 12, 6	67 15, 195	9, 986	13, 106	12, 094	13, 528	12, 871	10, 706	18, 140	_	
	充足率(%)((B/A) 100.	9 143. 9	104. 5	102. 7	102. 8	104. 1	104. 1	107. 5	135.8	J ∣	
内容	3 ICT教育環境の整備											
	(1) 双方向デジタルディスプレイや児童1人に1台整備したタブレット等を活用して、児童の情報活											
	用能力を育成しました。											
	(2) 機器の故障等の対応を随時適切に行うため、機器等の保守業務を行う体制を整えました。											
	(3) 各校へICT支援員を配置し、授業支援や授業提案等、教員のサポートを行いました。											
	(大規模校2校:月96時間 その他7校:月80時間)											
	(4) タブレットの自宅持ち帰りなど、活用が進む状況において、教育情報化指導員を配置し、タブレットの更なる活用の検討やICTを活用した教育に係る教員への指導を行いました。											
											<i>+</i> ∓ıı	
	(5) ICTを 用しまし <i>t</i>		教育 じの者1	F初州H	かけ消化	で図る/こ0	り、技未	日的公水	区1611年1月	車前及7	<i>ረ</i> ተሀ	
	(6) 双方向 7		ノフプレイ)	ひが付出。	ナスノー	トパソコン	いたののは	1歳の一体	刑の±.の	いっ亜新り	ı ≠	
	した。		1 / / / / / /	ישי ניו יט א	7 0 7	17171.	2 600 P	1度、00円で	主0700.	八二文初(0 &	
	0720											
	妥当性評価	公立小学村	交の管理運営	営は、学校	交の設置	皆である †	が実施	すべき事業	業です。			
重業の												
	有効性評価	公立小学村 	交の管理運営	営上に必要	要な職員(の配置や熱	枚材等の	整備を行う	うことが	できまし	った。	
	±1 ± 1/1 == 1==		7.1. Cat.	- 1 <i>11</i> 2	W. 1	. 181 —	- 1 16:1	<u> </u>	L 1			
	効率性評価	同種の備品	品は同時にま	tとめてš	も汪する7	よとして=	コスト削	減に努める	ました。			
						左の	財源内部	5				
車業弗				出金	地	方債		その他		一般財	源	
事業費	587, 835,	587, 835, 590										
		307, 033, 330		45, 601		0			0	586, 289	9, 989	

	款・項・目	10 • 2 • 1	目名称 学校管理費								
95	事務事業名称	小学校運営	事業	195							
	事業コスト(千円)										
	4 水泳授業										
	児童がよ	りよい指導	草を効果的に受けられるよう、民間プール等の活用に。	よる水泳授業指導支援を							
			†象に実施しました。								
	実施場所		アスティスポーツクラブ大府								
			吉田小:住友重機械温水プール								
			東山小:コナミスポーツクラブ豊明								
			共和西小・共長小:スポーツクラブNAS大高								
	石ヶ瀬小:スイムクラブ大府 5 教師用指導書等の調達										
	教科書の	改訂に伴い	N、教師用指導書及び教科書を調達しました。								
- 14											
実施 内容											
712											
	I										

主要事業No. 148 主要事業No. 148

	款・項・目	10・2・1 目	名称 学校管理費		Т	目の決算額 1	, 412, 9	966, 609				
196	事務事業名称								196			
	事業コスト(千円)	540, 789	【うち人作	‡費 13, 152 うっ	ち減価値	賞却費 412,5°	76	1				
	対象(何を、	誰を対象とし	して)									
事業の	小学校施設											
目的	目指す成果(対象をどの。	ょうにしたいのか)									
	児童が安心し	て学習に励む	こことができる環境が	が整備されています。	ı							
		指標	名	令和6年度実績個	直/	令和6年度計	一画値	単	鱼位			
評価	工事件数			22	/		21	件				
指標	維持修繕件数			117	/		36	件				
					/							
	安全で快適な教育環境の確保を図るため、校舎等の改修を行いました。 令和6年度 9小学校の施設整備費【708,945,794円】工事費532,265,011円+委託費等176,680,783円											
				丰度:386, 958, 059円								
	1 エレベー											
	(対象校:大府小学校、石ヶ瀬小学校)											
	車椅子を	使用する児童	置が在籍する学校に つ	ついて、エレベータ-	ーを設	置しました。						
	2 廊下間仕	切壁改修工事	事【繰越明許76, 285 -	千円、補助金26,035-	千円】							
	(対象校	(対象校:大府小学校、北山小学校)										
	教室と廊	下を仕切るも	8朽化した木製間仕り	切壁をスチール製にさ	と修し しょうかい かんかい かんかい かんかい かんかい かんかい かんかい かんかい か	ました。						
		改修工事【6										
		(対象校:神田小学校(北館)、北山小学校(北館)、共長小学校(給食室)、 石ヶ瀬小学校(南館東棟、給食室))										
実施 内容				改修を実施しました。 (対象技・共和悪小学		ᆂᇚᇄᄥᅷᆉ						
,,,,	4 体育館音響設備更新工事【8,718千円】 (対象校:共和西小学校、吉田小学校) 老朽化した体育館の音響設備を更新しました。											
	老朽化した体育館の音響設備を更新しました。 5 空調機更新工事【繰越明許20,735千円、補助金2,894千円】											
	5 空調機更新工事【繰越明計20,735十円、補助金2,894十円】 (対象校:神田小学校(図書室、校長室及びコンピューター室)、北山小学校(図書室))											
	近年の猛暑傾向に対応するため、老朽化した図書室等の空調機を更新しました。											
	6 外壁改修工事【繰越明許65,571千円、補助金21,883千円】(対象校:共長小学校(北館))											
	経年劣化	した外壁を改	女修しました。									
	7 床段差解	消工事【繰起	或明許33, 220千円、	浦助金8,677千円】(対象	交:大府小学	校始	め8校)				
	バリアフ	リー法改正に	こより、段差の解消	等のバリアフリー化る	を実施	しました。						
				交:北山小学校、吉F			小学校	ξ)				
				所があったため、更新								
				5千円】(対象校∶神田 ま場せよる叫ったもどい			字校、	、共長小	\字校)			
	学校や児	1		玻爆樹木2世アオギリ			v — ±	7 - 1				
	妥当性評価	公立小字校		育環境を確保すること	こは、	字校の設直を	すであ	る市か	美施す			
事業の		学校体設 <i>α</i>	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーーー と備要望を踏まえ、学	分块体	シの総化ト	利田	ト 安	<u> </u>			
評価	有効性評価			e哺女主を聞まれ、す 効果が上がっていま		政の放祀工、	们用	工、女	キエの			
	ᄊᇴᄴᇶᄺ	学校施設の)状態を踏まえた整備	 備手法の検討、学校旅	施設の	 余裕スペー <i>ス</i>	スの活	用、国	——— の補助			
	効率性評価	金等の活用	月により、コストの担	印制に努めています。								
				左の財法	原内訴							
事業費			国県支出金	地方債		その他	\perp	一般則	†源			
, ,,,,,,	708, 945, 794											
			118, 651, 000	59, 500, 000	27	7, 032, 900	:	253, 76	1, 894			

	±h += □	10 0 0 0	2.2.4.4.大师 PB			Т	口のは笠蛭	00 040 05	,		
107							日の沢昇額	68, 346, 35			
197					~ .	<u> </u>	***** 1 010	関立 1,049]	197		
対象 (何を、誰を対象として) 児童 目指す成果 (対象をどのようにしたいのか) それぞれの学校において、特色ある教育や保護者が安心できる環境が整い、児童が健やかに成長でいます。											
		誰を対象とし	して)								
事業の		116 5 10 5									
								+ B.			
		校において、	特色ある教育や保護	隻者が安心でき	きる環境	が整	い、児童が仮	≝やかに成∃	長できて		
	います。			A = - 0 = -		. I .	A 0	— <u>'</u>			
	ハ # 4 II の 		名	令和6年度		+ .	令和6年度計		単位		
						+					
旧信	就字援助費受	給者致 —————			272	1/		2/5 人			
						/					
									の友、		
							-ターを貸与	しました。			
				R5:9世帯 R	6:10世	带					
宝施			:人 R5:125人 R6	: 143人 (各	年度末日	時点)					
		R6:604,548円									
						조者4ノ					
				R6: 1, /20, 019	円						
				00,000円							
				16116.1.			-#				
				交を対象に本0)読み聞	かせ	講師を派遣し	しました。			
	実施クラス	ス数 55クラ	ラス								
		学校教育3	E第10冬/- 级这的I	申由にトって	计学团	単 レ	図めこわる!!	帝の促雑す	숙1 ~ 5 년 1		
	妥当性評価	て、必要な	ぼ援助を与えなければ								
		べき事業で									
事業の 評価	有効性評価		経済的負担を軽減する	ることにより、	義務教	育を	円滑に推進す	⁻ ることがで	ごきまし		
計順		た。									
	効率性評価		O保護者負担の軽減、 Nるコストは、事業量			奨励	費の支給、各	種活動への)交付金		
		大小口にはり	…のヨハドは、尹未皇 			<u> </u>	1				
			同日十八人		生の財源			60	B十 3年		
事業費	00 040 055		国県支出金	地方債			その他	一般	財源		
	68, 346,	35/					5, 771, 500				
			2, 470, 248		0 (基金	3, 705, 100)	60, 1	04, 609		

	款・項・目	10 • 2 • 2	目名称	教育振興費	
197	事務事業名称	小学校教育	盾振興 事	³ 業	197
	事業コスト(千円)				

6 体力向上プロジェクトの実施(基金2,320,500円)

体を動かすプログラムを1、2年生の体育の授業に取り入れ、自分の体を思うように動かすことができる能力を定着化させるとともに、体力の向上を図る取組を実施しました。

対象:全小学校1年生29学級、2年生30学級(合計59学級)

内容: 教員向け講習各校1回2時間、授業1年生各6時間/1学級、2年生各3時間/1学級

- 7 バイオリンによる音楽教育の実施(基金1,364,000円)
 - (1) バイオリンに興味を持つきっかけ作りとして、全小学校の4年生にバイオリンを用いた演奏体験による音楽教育を実施しました。
 - (2) バイオリンを活用した音楽教育として、本市出身のバイオリニスト・水野紗希さんと市広報 大使に新たに就任したギタリストの山下俊輔さんによる学校訪問コンサートを3小学校で開催しました。

R4:大府小、大東小、神田小 R5:北山小、東山小、共和西小 R6:共長小、吉田小、石ヶ瀬小 8 こどもの運動・文化活動支援事業の実施

小学校の課外活動廃止後におけるこどもの運動・文化活動の場を創出するため、学校施設を活用 した運動・文化活動の教室を開催する事業の実証をモデル校4校で実施しました。

対 象 校:大東小、神田小、共和西小、石ヶ瀬小

活動種目:総合運動コース(4校)、金管バンドコース(2校)

プログラミングコース(1校)、バイオリンコース(1校)

実施 内容

主要事業No. 150 主要事業No. 150

	款・項・目	10・3・1 目	名称 学校管理費		I	目の決算額	440, 292, 836	6	
198	事務事業名称 中							198	
	事業コスト(千円)	226, 068	【うち人作	井費 23,635 う	ち減価償	5 , 299	1	1	
事業の 目的 評価 指標	対象(何を、記中学校 目指す成果(文 多様な学習内容 ます。 学校図書標準冊 教育用タブレッ	推を対象とし 対象をどのよ 容、形態等に 指標 研数充足率 ソト1台当た	して) ようにしたいのか) こ対応した教材を活序 名 こりの生徒数	用し、生徒が安心し 令和6年度実績 109.	て学習で 値 / · 3 / 1 /	するための環	環境が整備: 画値 100 % 1 人/台	単位	
実内施容	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の必要人数を確保し、生徒の健康管理及び学校衛生管理を適切に行いました。 内科医 R4:10人 R5:12人 R6:12人 歯科医 R4:10人 R5:9人 R6:8人 薬剤師 R4:4人 R5:4人 R6:4人 2 学校図書館の図書整備 学校図書館図書標準に基づき、図書の整備及び充実に努めました。 学校図書館蔵書数 (年度末現在) R4:66,339冊 R5:66,741冊 R6:66,783冊 学校図書館図書購入冊数 R4:2,209冊 R5:66,741冊 R6:66,783冊 アジセ図書館図書購入冊数 R4:2,209冊 R5:2,205冊 R6:2,306冊 R6年度内訳 大府 大府西 大府北 大府南 標準図書数 (A) 16,800 14,560 17,600 12,160 蔵書数 (B) 17,168 15,886 17,804 15,925 充足率(%) (B/A) 102.2 109.1 101.2 131.0 3 ICT教育環境の整備 (1) 双方向デジタルディスプレイや生徒1人に1台整備したタブレット等を活用し、生徒の情報活用能力を育成しました。 (2) 機器の故障等の対応を随時適切に行うため、機器等の保守業務を行う体制を整えました。 (3) 各校へICT支援員を配置し、授業支援や授業提案等、教員のサポートを行いました。 (大規模校2校:月96時間 その他2校:月80時間) (4) タブレットの自宅持ち帰り等、活用が進む状況において、教育情報化指導員を配置し、タブレットの更なる活用の検討やICTを活用した教育に係る教員への指導を行いました。 (5) ICTを活用した教育での著作物利用の円滑化を図るため、授業目的公衆送信補償金制度を利用しました。								
事業の 評価	妥当性評価 有効性評価		での管理運営は、学材 での管理運営上に必要					ました。 <u></u>	
	効率性評価		整えることで効率的 じしてコスト削減に努	ろめました。		同種の備品(ま同時にま	とめて発	
			国旧士山本		源内訳	この44	ந் п.	B+ 31克	
事業費	107.000	100	国県支出金	地方債		その他	一般	知源	
	197, 230,	, 100	935, 399	0		0	196, 2	94, 701	

	款・項・目	10・3・1 目名称 学校管理費	
198	事務事業名称	中学校運営事業	198
	事業コスト(千円)		
	(6)双方向	ー 向デジタルディスプレイ及び付帯するノートパソコンをOS内蔵の一体型のものに更新	iしま
	した。		
	(7) 採点業	業務の効率化や教員の多忙化解消、個に寄り添った指導の質の向上を図るため、採点	シス
	テムを導	算入しました。	
実施 内容			

	款・項・目	10 · 3 · 1 目	名称 学校管理費		Т	目の決算額	440 5	292, 836		
199	事務事業名称「					H 47 0 (31 B)	,		199	
155	事業コスト(千円)	288. 181		<u></u> +費 13.152 う	ち減価値	賞却費 215,4	438]	100	
	対象(何を、	•		7	<i>У п</i> ж п ш п	year-ye 210,	100	4		
事業の	中学校施設	正とバ外とも	3 (7							
●乗の		対象をどの。	ようにしたいのか)							
			こことができる環境 <i>が</i>	ぶ整備されています。						
	- K. X. 10	指標		令和6年度実績		令和6年度	計画値	ì	鱼位	
評価	 工事件数	10 10	. н	8	_	13 THO T IZE	10		- 1-2-	
110 1 24	維持修繕件数			69				件		
	421312421120				/			'''		
実内施容	安全で快適な教育環境の確保を図るため、校舎等の改修を行いました。 令和6年度 4中学校の施設整備費【190,002,675円】工事費111,340,789円+委託費等78,661,886円令和4年度:128,205,000円 8工事 令和5年度:267,447,679円 12工事 1 キュービクルトランス更新工事【6,655千円】(対象校:大府中学校)老朽した電気設備のトランス(変圧器)を更新しました。 2 廊下間仕切壁改修工事【繰越明許30,657千円、補助金10,273千円】(対象校:大府西中学校)教室と廊下を仕切る老朽化した木製間仕切壁をスチール製に改修しました。 3 小便器汚水管等改修工事【17,930千円】(対象校:大府西中学校)男子トイレの小便器の汚水管が経年劣化しているため、改修しました。 4 空調機更新工事【繰越明許11,495千円、補助金2,430千円】(対象校:大府西中学校)近年の猛暑傾向に対応するため、老朽化した図書室の空調機を更新しました。 5 体育館床研磨及び塗装工事【6,124千円】(対象校:大府北中学校)老朽化した体育館床材の研磨及び再塗装を行いました。 6 門扉取替工事【繰越明許8,206千円、補助金1,850千円】(対象校:大府北中学校)老朽化した正門等の門扉を更新しました。 7 校内放送設備更新工事【8,442千円】(対象校:大府北中学校、大府南中学校)老朽化した校内放送設備を更新しました。 8 床段差解消工事【繰越明許20,778千円、補助金5,812千円】(対象校:大府中学校始め4校)パリアフリー法改正により、段差の解消等のパリアフリー化を実施しました。 9 背面ロッカー更新【18,750千円】(対象校:大府西中学校)ロッカーが経年劣化し、破損している箇所があったため、更新しました。									
事業の	妥当性評価	べき事業で	をの安全、安心な教育 『す。 							
評価	有効性評価									
	効率性評価 学校施設の状態を踏まえた整備手法の検討、学校施設の余裕スペースの活用、国の補助 金等の活用により、コストの抑制に努めています。									
				左の財	源内訴	1				
古米曲			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源	
事業費	190, 002	2, 675	20, 365, 000	13, 000, 000	5	60, 855, 380)	105, 78	32, 295	

	款・項・目	10.2.2	名称 教育振興費		日の油質を	E 55	561, 818					
200	事務事業名称 中				目の決算額	Ę 00,	200					
200	事務事業石称 日			<u>‡費 18,080</u> う	ち減価償却費 43	20	1 200					
-	対象(何を、記			↑負 10, 000)	の原画原列を示))	1					
	生徒	世で対象とし										
事業の		対象をどの。	ようにしたいのか)									
目的			特色ある教育や保証	養者が安心できる環	境が整い、生徒	が健やが	いに成長できて					
	います。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7.2000 3.777 7.77		2000 III - 1 III							
		 指標	 !名	令和6年度実績	値 / 令和6年	度計画値	単位					
評価 指標	公費負担の補助	助教材等		1	/	12	種類					
旧信	就学援助費受給	合者数 合者数		18	1 /	212	人					
	1 保護者の負	負担軽減		•								
	知多の友、	中学生活 &	と進路、社会科作業は	帳(白地図)、観察	と実験、はばた	:く中学5	生、数学リー					
	プ、スポーツ	ツ診断検査、	知能検査、性格判認	断検査、標準学力検	査、進路適性診	断を公費	貴負担し、					
	保護者の負担	旦を軽減しる	ました。									
	保護者負担	旦軽減額 R	4:14,950,035円 F	85:15,503,040円	R6: 15, 606, 68	円						
		就学援助費の支給										
	要保護生統	要保護生徒 R4: 1人 R5: 2人 R6: 3人										
	準要保護5	主徒 R4:1	63人 R5:188人 F	86:178人								
	合計		64人 R5:190人 F		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •							
			が整備されていない。			与しまし	た。					
	Wi-Fiルーター貸与世帯数 R4:13世帯 R5:8世帯 R6:12世帯 3 特別支援教育就学奨励費の支給											
					L \							
実施 内容		支給生徒数 R4:37人 R5:38人 R6:43人 (各年度末時点) 4 各種活動への支援										
1,10			意工夫した教育活動が	が田海に生って トネ	 - 六八<u>今</u>年	士公! =	± 1 +-					
			弘工大した教育活動/ 郡上市2泊3日)	い口消に打んるよう	1二、义门 並守で	文和しる	F U/E 0					
			: 960, 540円 R6: 9	950 060円								
			校) R4:4,468,00		0円 R6 : 4. 46	3.000円						
			也域」編集事業 R4	, ,	,	,	0円					
			: 1, 854, 000円 R5 :			,						
	(5) 職場体馬	澰活動事業	(2年生) R4:145,	000円 R5:145,00	0円 R6:145,0	000円						
	(6) 全国中等	学校体育大会	会等派遣費補助(4校	:)R4:876, 460円	R5 : 3, 260, 125	円 R6:	1, 928, 328円					
	※R5はカ	大府北中学村	交野球部が全国大会	(高知県) 、R6は大	府北中学校ソフ	トボール	レ部が全国大会					
	(富山県	県)に出場し	したため追加補助									
	(7) 中学生平	平和大使派员	貴事業(沖縄県 2泊	3日、中学生8人、引	率者3人)							
	R6:1,2	239, 415円				·	/= = # · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
	妥当性評価		は第19条に、経済的項 は援助を与えなければ									
	~ - IIII	べき事業で				1 1/2/5	J.5 7					
事業の	有効性評価 保護者の経済的負担を軽減することにより、義務教育を円滑に推進することができまし											
評価		た。										
	効率性評価)保護者負担の軽減、			、各種活	動への交付金					
	対策は計画 支給に掛かるコストは、事業量に見合っています。 左の財源内訳											
			国県支出金	を	源内訳 その他	1	飲 田 お店					
事業費	55, 561 <u>.</u>	212	国宗又凸玉	地力領	てい他		一般財源					
	00, 001,	010	2 110 000	0		0	E0 4E1 700					
			3, 110, 028	0		0	52, 451, 790					

	款・項・目	10・3・2 目名	称教育振興費	
200	事務事業名称	中学校教育振興	事業	200
	事業コスト(千円)			

- 5 中学校部活動地域移行の推進
- (1) 部活動指導員の配置

部活動の指導の充実及び教職員の多忙化解消を図るため、部活動指導員を全中学校に配置しま した。

配置実績:大府中学校 (バドミントン部、陸上部、剣道部、卓球部、バスケットボール部)

大府西中学校(剣道部、バスケットボール部(男女)、陸上部、サッカー部)

大府北中学校(剣道部、ソフトボール部、陸上部、サッカー部、吹奏楽部、

テニス部)

大府南中学校(野球部、テニス部、バドミントン部、バスケットボール部(男女)、 剣道部、サッカー部、陸上部、卓球部)

(2) 部活動地域移行実行委員会の開催

中学校部活動の地域移行を円滑に進めるため、中学校部活動地域移行実行委員会を設置し、部活動の地域移行に向けた各種検討事項について協議しました。

(3) 部活動地域移行モデル事業の実施

今後の運営管理体制等を検証するため、国の実証事業に参加し、一部の中学校においてモデル 事業を実施し、課題を整理しました。

(4) 部活動地域移行コーディネーターの配置

地域人材の発掘や生徒の活動のニーズ調査、部活動の地域移行に関する様々な調整のため部活動地域移行コーディネーターを配置しました。

(5) 地域指導者育成プログラムの実施

地域移行後の地域クラブでの指導者の質を確保するため、至学館大学と連携し指導者研修プログラムを構築するとともに、研修会を実施しました。

内容 6 中学生水泳教室の実施

実施

中学校での水泳授業の実技廃止に伴い、泳力向上を望む生徒に対し、民間施設を活用した水泳教室を実施しました。

また、住友重機械温水プールの利用券を配布し、水泳の機会を確保しました。

水泳教室参加者数 R6:延べ91人(1人あたり3回まで)

住友重機械温水プール利用券利用者数 R6:延べ231人(1人あたり3回まで)

主要事業No. 151 主要事業No. 151

	款・項・目	10 - 4 - 1	目名称 社会教育総務費			目の決算額	75 !	537, 848				
201	事務事業名称					1 07 1/ OF 11X	,		201			
201	事業コスト(千円)			費 10.942 うす	は減価値	賞却費 492]	201			
	対象(何を、	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		· 頁 10, 0+2		₹M1 € 102		1				
	市民	誰で刈外と	. 0 ()									
事業の		 (対象などの)ようにしたいのか)									
目的			なうにしたいのが) tされるとともに、生涯	F씀꾀드워코 Z ᆂ모/	n –	ブーウドナ	悪成も	・中佐+	カー			
	子自の機会へいます。	1月1以り1定け	それることもに、土地	三子自に対する印氏(J——	ヘに心した	神座が	`天心で	100			
	0,43.		 標名	令和6年度実績個	5 /	令和6年度詞	计面值	Н	单位			
=== /TT	 生涯学習プラ			36	_	7110千尺		回	= 177			
評価 指標	土煙デョック		- 大池四奴	455	/		580	件				
74,00	時圧の旧状が	<u> </u>		400	/		- 000	П				
	1 生涯学習		月催 年3回 (5/21、8/2	21 2/10)	/							
			選手項について調査署									
				計議 しま した。								
		審議件数 R4:10件 R5:10件 R6:8件 2 生涯学習研究集会の開催 年1回 (1/23)										
				' 今ての しゃの宝庭!	と呼1日	44448江	/=	40				
		こどもから高齢者まで生涯学習を実践する全ての人々の家庭や職場、地域が活気にあふれ、 発展するように生涯学習活動の振興と充実を図りました。										
		発展するよっに生涯字省活動の振興と充実を図りました。 参加者数 R4:78人 R5:75人 R6:81人										
						芸への参加						
	県社会教育委員連絡協議会等 4回 (5/21、10/10、10/11、11/13) 知多地区家庭教育推進協議会 4回 (6/12、10/3、11/7、1/16)											
	4 地域課題解決に寄与する事業の実施(随時) 市民ニーズに即した地域課題を解決する事業を積極的に実施することにより、地域力の向上											
実施												
内容		及び地域愛の醸成を図りました。 講座数等 R4:313講座 1,005回 18,237人 R5:342講座 1,071回 19,281人										
	講座数等 I		, , , , ,		/1回	19, 281人						
			講座 1,105回 23,248人									
			「講座の開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		-	-L - 15 15						
			ーチ事業として、10人	、以上で構成されたは	単体に	、市の施策	や制度	まについ	`			
			を実施しました。	0=# - 10 - 070	D0 0	=# # 0 7 7	0.1					
			座 20回 918人 R5:10	0講座 10回 3/6人	Kb : 3	講座 3回 /	0人					
	6 生涯学習			<u> </u>	п т [,] т [,]	× ケ ー ハ 田						
			習事業を集約し、市公式 は古る団体も同様に古り					-				
			かする団体も同様に市公 (** DE 440/# DC 4	•	旬戦し	、惰報提供	1_	けました	0			
	損 掲載件剱	¿ K4:41/1	件 R5:449件 R6:4	55 14								
		4		<u> </u>		0 374 212 C (c)	- 1814	1-6				
	妥当性評価		機会の拡充は、市民の 市が実施すべき事業で		<i>、、そ</i> (の字省の結:	果が地	,域に還	元され			
±						= + - :	Lul. 1—b = m	B= ' '	<u> </u>			
事業の 評価	有効性評価		後のアンケート結果や 施しました。	の、生涯字省番議会で	の意見	見を元に、:	地域課	題に対	応した			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,												
	対率性評価											
				左の財法	原内部							
			国県支出金	地方債	-	その他	1	—— —般則	才 頂			
事業費	2, 027	200	ロハスロエ	- 6/1 良		C 47 IE		川又只	1 1111			
	2,021	, 200	0	0		99, 280		1 00	27 020			
			U	U		ჟ ყ , ∠გე	<u>' </u>	1, 92	27, 920			

ľ		款・項・目	10・4・1 目名称 社会教育総務	費	
	201	事務事業名称	生涯学習機会拡充事業		201
		事業コスト(千円)			

7 健康お笑い事業の実施

市民を笑いで健康にする「市民芸人」を育成するためのワークショップを開催するとともに、市民の漫才大会として「OBU-1グランプリ2024withメディアス」を開催し、「笑いによる健康づくり」を全国にPRしました。

市民芸人育成プログラム実施回数等 R4:3回 31人 R5:3回 20人 R6:3回 16人 OBU-1グランプリ2024withメディアス 予選:オンライン審査、準決勝:11/16 決勝:11/17

R4: 出場者数212組432人 観覧者数237人 R5: 出場者数190組390人 観覧者数206人

R6: 出場者数233組471人 観覧者数212人

- 8 永田雅宜氏プロジェクトの実施
 - (1) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」を開講しました。

講座数等 R4:2講座 7回 241人 R5:3講座 6回 95人 R6:3講座 5回 86人

(2) 算数・数学検定団体受検を実施しました。

開催数等 R4:2回 51人 R5:2回 53人 R6:1回 36人

(3) 「博士のポケット 数学者・永田雅宜の生涯」を増刷・販売しました。

販売冊数 R6:136冊

実施 内容

主要事業No. 5 4 主要事業No. 5 4

202		款・項・目	10 · 4 · 2 E	名称 公民館費			目の決算額	297	391, 294				
事業の	202						口切外并限	207,	301, 201	202			
対象 (何を、誰を対象として)	202				.弗 10 623 う	た減価	営≠□ 弗 002		1	202			
市民		2 514 (1 1 12	,		· 負 19,000	つル川川	長如長 002		1				
日指す成果 (対象をどのようにしたいのか) 公民館の生涯学習事業を総括することにより、より効果的な学習機会や情報が提供されています。 指標名 令和6年度実稿値 夕 令和6年度計画値 単位 公民館等利用者数 249,204 321,900 人 日本学習団体数 409 夕 500 団体 学習 実達事業「まなポート」の参加者数 126 夕 140 人 日本学習団体数 409 夕 500 団体 249,204 月 140 人 日本学習団体数 409 夕 500 団体 249,204 月 140 人 日本学習 大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大			証で対象 こし										
公民館の生涯学習事業を総括することにより、より効果的な学習機会や情報が提供されています。	サネツ		√\台ナじの	h=1-1+120h)									
###	п н ,				1. 1. 故思仇小觉羽	∞ △ ᠘	wie 却 43 HB /##	+ + -	-1.++	_			
四条		公氏館の生涯				_							
自主学習団体数		八日約年刊田				_				리꼬			
空間支援事業 まなポート」の参加者数 126						_	32	-					
1 公民館等講座の実施 生涯学習ブラン2030に基づき、地域力の向上に寄与する公民館等講座を実施しました。 講座数等 R4: 313講座 1,005回 18,237人 R5: 342講座 1,005回 23,248人 (1) 生涯学習ブラン重点事業講座の実施 講座数等 R4: 32講座 71回 782人 R5: 38講座 72回 989人 R6: 36講座 66回 952人 (2) 若者向け講座「フレセガウ」の実施 講座数等 R4: 10講座 29回 114人 R5: 10講座 22回 78人 R6: 9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「ハイカラブラス」の実施 講座数等 R4: 16講座 23回 285人 R5: 20講座 29回 403人 R6: 25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4: 13コース 330人 R5: 11コース 378人 R6: 12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4: 44講座 215回 1,526人 R5: 37講座 157回 1,196人 R6: 61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4: 46人 R5: 53人 R6: 66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4: 13講座 18回 297人 R5: 14講座 14回 205人 R6: 15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4: 44講座 9回 292人 R5: 44講座 8回 148人 R6: 44講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4: 7回 R5: 19回 R6: 31回 要当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 会議対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を 得ることができました。 本2 当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果の事件を開催しました。 対率性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果の事件を開催しました。 第座回数 R4: 7回 R5: 19回 R6: 31回	10 10%			しょの名加老粉		-							
# 生涯学習プラン2030に基づき、地域力の向上に寄与する公民館等講座を実施しました。 講座数等 R4:313講座 1,005回 18,237人 R6:342講座 1,071回 19,281人 R6:369講座 1,105回 23,248人 (1) 生涯学習プラン重点事業議座の実施 講座数等 R4:32講座 71回 782人 R5:38講座 72回 989人 R6:36講座 66回 952人 (2) 若者向け講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4:10講座 29回 114人 R5:10講座 22回 78人 R6:9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座 71回 752人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:16講座 23回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:43講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:44講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 要当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 第座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回				ト」の参加有剱	120			140	人				
講座数等 R4: 313講座 1,005回 18,237人 R5: 342講座 1,071回 19,281人 R6: 369講座 1,105回 23,248人 (1) 生涯学習ブラン重点事業講座の実施 講座数等 R4: 32講座 71回 782人 R5: 38講座 72回 989人 R6: 36講座 66回 952人 (2) 著者向け講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4: 10講座 29回 114人 R5: 10講座 22回 78人 R6: 9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「ハイカラブラス」の実施 講座数等 R4: 16講座 23回 285人 R5: 20講座 29回 403人 R6: 25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4: 13コース 330人 R5: 11コース 378人 R6: 12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4: 41講座 215回 1,526人 R5: 37講座 157回 1,196人 R6: 61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4: 46人 R5: 53人 R6: 66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4: 18講座 18回 297人 R5: 14講座 14回 205人 R6: 15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4: 41講座 18回 297人 R5: 4講座 8回 148人 R6: 4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、パイオリン関連の講座を開催しました。講座回数 R4: 7回 R5: 19回 R6: 31回 ヌ当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施でべき事業です。 本別性評価 会議を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 第座回数 R4: 7回 R5: 19回 R6: 31回 第本学の評価 知性評価 最長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 左の財源内訳 国際支出金 地方債 その他 一般財源				-+		\	· ·						
R6: 342講座 1,071回 19,281人 R6: 369講座 1,105回 23,248人 (1) 生涯学習ブラン重点事業講座の実施 講座数等 R4: 32講座 71回 782人 R5: 38講座 72回 989人 R6: 36講座 66回 952人 (2) 若者向け講座 7フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4: 10講座 29回 114人 R5: 10講座 22回 78人 R6: 9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4: 16講座 23回 285人 R5: 20講座 29回 403人 R6: 25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4: 13コース 330人 R5: 11コース 378人 R6: 12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4: 41講座 215回 1,526人 R5: 37講座 157回 1,196人 R6: 61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4: 46人 R5: 53人 R6: 66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4: 18講座 18回 297人 R5: 14講座 14回 205人 R6: 15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座 「ながラボ」の実施 講座数等 R4: 4講座 9回 292人 R5: 4講座 8回 148人 R6: 4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4: 7回 R5: 19回 R6: 31回 事業の 評価 事業の 評価 本の世評価 の実践で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 を関係会を提供することにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 第座日野価 銀長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 をの財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 国県支出金 地方債 その他 一般財源						13 寺講	挫を実施し	ました	- 0				
R6:369講座 1,105回 23,248人 (1) 生涯学習プラン重点事業講座の実施 講座数等 R4:32講座 71回 782人、R5:38講座 72回 989人 R6:36講座 66回 952人 (2) 若名向け講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4:10講座 29回 114人 R5:10講座 22回 78人 R6:9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座 73回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 事業の 評価 本書書 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ返元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 カ率性評価 銀長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 本の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 12,307,075		講座数等 I											
(1) 生涯学習プラン重点事業講座の実施 講座数等 R4: 32講座 71回 782人 R5: 38講座 72回 989人 R6: 36講座 66回 952人 (2) 若者向け講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4: 10講座 29回 114人 R5: 10講座 22回 78人 R6: 9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「ハイカラプラス」の実施 講座数等 R4: 16講座 23回 285人 R5: 20講座 29回 403人 R6: 25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座 「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4: 13コース 330人 R5: 11コース 378人 R6: 12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4: 13講座 215回 1,526人 R5: 37講座 157回 1,196人 R6: 61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4: 46人 R5: 53人 R6: 66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 護座数等 R4: 18講座 18回 297人 R5: 14講座 14回 205人 R6: 15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4: 4講座 9回 292人 R5: 4講座 8回 148人 R6: 4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「パイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、パイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4: 7回 R5: 19回 R6: 31回													
講座数等 R4:32講座 71回 782人 R5:38講座 72回 989人 R6:36講座 66回 952人 (2) 若者向け講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4:10講座 29回 114人 R5:10講座 22回 78人 R6:9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「ハイカラブラス」の実施 講座数等 R4:16講座 23回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:41講座 18詞 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 事業の 評価			R6:369講]座 1,105回 23,248人									
(2) 若者向け講座「フレ☆ガク」の実施 講座数等 R4:10講座 29回 114人 R5:10講座 22回 78人 R6:9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「ハイカラブラス」の実施 講座数等 R4:16講座 23回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラポ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回		(1)生涯学											
講座数等 R4:10講座 29回 114人 R5:10講座 22回 78人 R6:9講座 17回 105人 (3) 企業等連携講座「ハイカラブラス」の実施 講座数等 R4:16講座 23回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1.526人 R5:37講座 157回 1.196人 R6:61講座 202回 1.809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 要当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 会民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 カッキ性評価 部長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 国界支出金 地方債 その他 一般財源		講座数	講座数等 R4:32講座 71回 782人 R5:38講座 72回 989人 R6:36講座 66回 952人										
(3) 企業等連携講座「ハイカラブラス」の実施 講座数等 R4:16講座 23回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜民関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:18講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回		(2) 若者向	(2)若者向け講座「フレ☆ガク」の実施										
講座数等 R4:16講座 23回 285人 R5:20講座 29回 403人 R6:25講座 29回 405人 (4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 要当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 効率性評価 館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 本の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 12,307,075		講座数	(等 R4:10詞	講座 29回 114人 R5	: 10講座 22回 78人	. R6	: 9講座 17[回 105.	人				
(4) 定年前後の男性を対象にした講座「おやじの学び舎」の実施 コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人 (5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回		(3) 企業等	連携講座「ノ	ハイカラプラス」の実	ミ施								
東京施													
(5) 市民講師企画講座の実施 講座数等 R4:41講座 215回 1,526人 R5:37講座 157回 1,196人 R6:61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回													
内容	実施	コース数等 R4:13コース 330人 R5:11コース 378人 R6:12コース 411人											
R4 : 41講座 215回 1,526人 R5 : 37講座 157回 1,196人 R6 : 61講座 202回 1,809人 講師応募者数 R4 : 46人 R5 : 53人 R6 : 66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4 : 18講座 18回 297人 R5 : 14講座 14回 205人 R6 : 15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4 : 4講座 9回 292人 R5 : 4講座 8回 148人 R6 : 4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4 : 7回 R5 : 19回 R6 : 31回		(5) 市民講											
講師応募者数 R4:46人 R5:53人 R6:66人 (6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 事業の 評価 本会理 2 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 本会理 2 有効性評価 2 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 本会理 2 などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 まませいでは、中央の地域の関係を表現した。 本の財源内訳 「は2,307,075 国県支出金 地方債 その他 一般財源 「12,307,075 国県支出金 地方債 その他 一般財源													
(6) 大学等連携講座「おおぶアカデミー」の実施 講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――		R4 : 41	講座 215回	1,526人 R5:37講座	型 157回 1,196人 F	R6 : 61	講座 202回] 1, 809	9人				
講座数等 R4:18講座 18回 297人 R5:14講座 14回 205人 R6:15講座 15回 277人 (7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 妥当性評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 効率性評価 館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 12,307,075		講師応	募者数 R4	: 46人 R5:53人 R	6:66人								
(7) 永田雅宜氏関連講座「ながラボ」の実施 講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 妥当性評価 果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 効率性評価 館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 12,307,075		(6) 大学等	連携講座「お	おおぶアカデミー」 <i>σ</i>)実施								
講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 妥当性評価		講座数	等 R4:18記	講座 18回 297人 R5	: 14講座 14回 205,	人 R6	6:15講座 1	I5回 2 ⁻	77人				
講座数等 R4:4講座 9回 292人 R5:4講座 8回 148人 R6:4講座 6回 122人 2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 妥当性評価													
2 公民館等講座の充実 「バイオリンの里おおぶ」の実現に寄与するため、バイオリン関連の講座を開催しました。 講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 事業の事評価 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 有効性評価 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 効率性評価 館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。 事業費 左の財源内訳 12,307,075 国県支出金 地方債 その他 一般財源 2,897,125						R6 : 4	講座 6回 12	22人					
事業の 評価													
講座回数 R4:7回 R5:19回 R6:31回 安当性評価				おぶ」の実現に寄与す	- - るため、バイオリ:	ン関連	の講座を開	催しま	E 1. <i>t</i> - 。				
事業費 12,307,075 公民館で生涯学習の機会を提供することは、市民の主体的な学習を促し、その学習の結果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。 事業費 イ効性評価 受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。 事業費 左の財源内訳 事業費 12,307,075 上の財源内訳 事業費 12,307,075 上の財源内訳 事業費 12,307,075 上の財源内訳 事業費 12,307,075 上の財源内訳						- 1212		, IE 0 0	. 0 , 2 0				
事業の 評価果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。有効性評価受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。効率性評価館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。本の財源内訳国県支出金地方債その他一般財源12,307,0752,897,125													
事業の 評価果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。有効性評価受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。効率性評価館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。本の財源内訳国県支出金地方債その他一般財源12,307,0752,897,125													
事業の 評価果が地域へ還元されるため、市が実施すべき事業です。有効性評価受講対象を明確にするなど、工夫をこらして各種講座を実施したことで、高い満足度を得ることができました。効率性評価館長会などを通して情報共有を行うことにより、効率的な事業及び公民館運営を実施することができました。本の財源内訳国県支出金地方債その他一般財源12,307,0752,897,125			公民館では	上涯学習の機会を埋出	:することは 市民の	り主体	的か学習を		その学	習の結			
(することができました。 (することができました。) (することができました。) (することができました。) 左の財源内訳 事業費 12,307,075 上の財源内訳 12,307,075 2,897,125		■ 妥当性評価 ■					⊭ነ.ው⊥⊟ር	, C O (C 47 T	ᆸᄿᄭᄱ			
(することができました。 (することができました。) (することができました。) (することができました。) 左の財源内訳 事業費 12,307,075 上の財源内訳 12,307,075 2,897,125	事業の	,	受講対象を	—————— を明確にするかど T	ナタニム て冬種	帯座を	実施したこ	上で	高い満	足度を			
対象性評価 ることができました。 事業費 12,307,075 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 12,307,075 2,897,125													
対象性評価 ることができました。 事業費 12,307,075 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 12,307,075 2,897,125			館長全かり	 ビを诵して情報共有を		小座的	な事業及び	公 尺 館	運営を	実施す			
事業費 12,307,075 国県支出金 地方債 その他 一般財源 2,897,125										人加			
事業費 12, 307, 075 2, 897, 125			1		左の財	源内部	1						
12, 307, 075	— 40, —			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源			
	事業費	12, 307, 075					2, 897, 125	5					
, , , =				8. 797. 782	0				61	2, 168			

	款・項・目	10・4・2 目名	A称 公民館費	
202	事務事業名称	公民館等生涯学	学習機会提供事業	202
	事業コスト(千円)			

3 小中学生の学習支援

中学生を対象とした学習支援事業「まなポート」を対面及びオンラインで実施しました。 また、新たに小学4年生から6年生も対象に加え、中学生は毎週土曜日、小学生は隔週土曜日 に、4つの公民館で実施しました。

公民館及びいきいきプラザの図書室等を「まなスポット」と位置付け、土日や長期休暇時 のこどもの学習室としての利用を促進しました。

まなポート受講者数 中学生 R4:72人 R5:65人 R6:76人 小学生 R6:50人

4 効率的な公民館運営及び情報発信

館長会を通して、講座の実施内容の見直しや利用者からの要望等、運営に関しての共通課題を議論することにより、統一的で効率的な公民館運営を行いました。また、講座などの公民館事業を、市公式ウェブサイトや広報おおぶ等で定期的に発信しました。

公民館情報掲載件数 R4:67件 R5:66件 R6:71件

5 公民館等を活動拠点とする自主学習団体の育成

講座受講者の団体化を支援するほか、生涯学習に関する気運を高めることにより、生涯学習を行う自主学習団体を育成しました。

自主学習団体数 R4:440団体 R5:455団体 R6:409団体

6 県公民館連合会への参加 3回 (5/22、6/4、11/13)

国や県の生涯学習に関する要請や方向性などを情報収集し、本市の生涯学習事業に反映しました。

実施 内容

主要事業No. 57 主要事業No. 57

	款・項・目	10 • 4 • 2	目名称 公民館費		Т	目の決算額	297, 3	391, 294			
203	事務事業名称	共長公民館	—— ■ 事業						203		
	事業コスト(千円)	29, 238	 【うち人件	-費 18, 483 うっ	ち減価値	賞却費 3,169	9]			
	対象(何を、	誰を対象と	して)								
	市民										
事業の 目的	目指す成果	(対象をどの	ようにしたいのか)								
日的	学習の機会や	情報が提供	され、各関係機関団体	体、地域が連携し、	「まな	:びあい、お	しえあ	らい、地	域の		
	ふれあいの場	引が形成さ	れています。								
		指标	 票名	令和6年度実績個	直 /	令和6年度	計画値	È	单位		
評価	公民館講座受	·講者数		1, 822	/	2	2, 290	人			
指標	公民館施設利	用者数		24, 501	/	37	7, 300	人			
	講座アンケー	- 卜回答率		78. 9	/		100	%			
	1 公民館講	陸等の実施		•	•	•		•			
	人と人と	:のつながり	を深め、心豊かな暮ら	。 しを実現し地域力の	の向上	に寄与する	講座等	を実施	iしま		
	人と人とのつながりを深め、心豊かな暮らしを実現し地域力の向上に寄与する講座等を実施しま した。 受講者数 R4年度:1,468人 R5年度:1,633人 R6年度:1,822人										
	(1) 生涯学習プラン重点事業 和紙押絵講座等 4講座 8回 参加者数 61人										
	(2) こども	,向け講座	夏休み考古学教室等	15	講座	37回 参	加者数	女 573人			
	(3) 若者向]け講座 フ	レ☆ガク 一汁一菜教	文室 1	講座	1回 参	加者数	7 1人			
	(4) 成人向]け講座 お	おぶアカデミー「紫式	忧部の実像」等 13	講座	28回 参	加者数	女 317人			
	(5) 高齢者	前付講座	寿大学等	8	講座	20回 参	加者数	753人			
	(6) 市民講	師企画講座	超初心者向けギター	-講座等 4	講座	14回 参	加者数	大 117人			
	2 行事等の開催										
	(1) 共長公民館ふれあい文化まつりでは50回目の開催を記念してバイオリン演奏を行いました。										
	(10/5~10/6) 参加者数(施設入場者)1,489人										
実施 内容	(2) 共長コミュニティ芸能祭を開催しました。 (2/9) 出演者数389人										
170	3 地域拠点	機能の強化									
	地域拠点	機能の強化	として、地域の困りこ	ごと相談を受けるとも	こもに	、図書室等	を「ま	なスポ	ポット」		
	と位置づけ	ト、公民館学	習室の利用を促進しま	ミした。 利用者数	5, 27	/8人					
	4 公民館生	涯学習推進	委員会の開催 委員1	3人 4回開催(5/23	. 8/2	22, 11/21,	2/20)				
	5 利用者団]体会議の開	催(3回開催)								
	施設利用	説明、消火	訓練 (4/19) 、共長公	公民館ふれあい文化る	きつり	説明(7/13	3)、利	用者館	内清		
	掃(12/13))									
	6 公民館利	川用の推進									
	公民館利	川用者数 R4	年度: 23,957人 R5年	F度:22,821人 R6年	F度:	24,501人					
	講座アン	ケート回収	率 R4年度:87.9%	R5年度:77.3% R	6年度	: 78.9%					
	7 施設維持										
	第1会議	室壁面修繕、	館内共用部分壁面修	繕、駐車場アスファ	ルト	長替修繕					
	妥当性評価		主催する自主講座は、		三の質	を確保でき	たもの	を市民	へ提供		
		9 8 7 -	ビスが実現できていま		- tw r=	1 + 1 +	7 \ L		田ナシ		
事業の 受講生にアンケートを実施し、ニーズや課題などを把握しました。アンケート総 有効性評価 考に講座の内容等を工夫し、複数の広報手段により公民館講座の周知等図るなど またがはなります。											
a于1個		講生が増	加しました。								
	効率性評価		知については、市公式 ブサイト上のフォーム								
\vdash		CIGOT					天心し	012	٥		
					原内訳			 一般財源			
事業費	7 510	455	国県支出金	地方債		その他		一般則	4 源		
	7, 513	, 455		_		104 000		7 0	,, ,,,,		
			0	0		124, 380)	7, 38	39, 075		

	款・項・目	10・4・3 目	名称 歴史民俗資料館	 費		目の決算額	171, 2	247, 156			
204	事務事業名称 文	文化財等保存	——■ 存伝承活用事業						204		
	事業コスト(千円)	78, 270	【うち人件	費 33,987 う	ち減価値	賞却費 9,094		1			
	対象(何を、詞	誰を対象とし	ノて)								
事業の	文化財(歴史的	的・文化的遺	遺産、貴重な動植物、	歴史的景観、遺跡))						
目的	目指す成果(対	対象をどのよ	にしたいのか)								
	適切な保護・倪	保存と管理が	が実施され、活用が行	·われています。							
		指標	名	令和6年度実績個	直/	令和6年度計	画値	単	单位		
評価	文化財補助件数	数		6			5	件			
指標	展示室入場者数	•		35, 902				人			
	市公式ウェブサ	サイトアクも	2ス件数	40, 899	/	28,	500	件			
	1 文化財の係										
			・文化財総合防火訓練	徳の開催(年4回開催	、委	員10人)					
	(2) 文化財の										
	2 文化財の保存、伝承事業への補助 (1) 様規藤共神社祭礼二来即(南組 石丸組 中組条保存令)(2) 長草王神社どごろくまつは保存										
	(1) 横根藤井神社祭礼三番叟(南組、石丸組、中組各保存会)(2) 長草天神社どぶろくまつり保存										
		会(3) 半月七社神社おまんと祭り保存会 (4) 吉川獅子屋形修復 (5) 大府市指定文化財保存伝承 事業負傷等見舞金の創設									
	3 埋蔵文化則			把 带 在心思与苦地。	∙n ⊤±r=s		田本の	B- 14-	4-1×		
			画整理予定地における ■新しました。 <i>(</i> 齋慧			調宜、発掘	調宜の	監修を	1丁い、		
	大府市遺跡等分布図を更新しました。(確認調査4件、発掘調査0件) 4 歴中民俗資料館の企画展示等の開催										
	4 歴史民俗資料館の企画展示等の開催 企画展示や講座等をふるさとガイドおおぶ等の協力で開催しました。(1)特別展(1回)遠野										
+	一「日本の永遠のふるさと」と「遠野物語」一、企画展(6回)宮沢賢治と音楽等、常設展示企画										
実施 内容	一・日本の水達のふるさと」と「選野物語」一、正画版(0回)呂爪貞冶と自来寺、帯設族小正画 (4回)、資料館探検クイズ(2回)(2) おおぶバイオリン縁起、昭和の暮らし再現展示(3) ロビー										
			その他 市ゆかりの								
			(1回)、スタンプ・								
			(ログ、ハグラ) 息棟及び防空壕一般公		\n \ C	007271	,	0 .6.6	- /		
	5 講座の開催		学の教授・学生ボラン		て講座	等を開催し	ました				
)日本文化体験講座						関連 関連		
	講座等(4回										
	6 情報の発信	言									
	(1) 年報の刊	刊行、大府市	市誌等の頒布、市公式	ウェブサイトの更新	新 (2)小学生資料	料館見	.学(6村	交)		
	(3) 小学生資	資料館バーラ	チャル見学(1校)(4)	学芸員実習受入れ	. (2人	.) (5) デジャ	タルミ	ュージ	アム		
	バイオリンの	の里おおぶゝ	メタバース内のコンテ	ンツの充実							
	7 市史の編る	さん									
	(1) 市史編る	さん委員委員	全会(1回)(2)市史 ³	平成編編集委員会((3回)						
	妥当性評価		こ。 『である文化財を保護 『べき事業です。	し、文化財の活用や	た伝承	を図ることに	ま市の	責務で	あり、		
事業の 評価											
			業について会場設営					関併し			
	効率性評価		またりいて芸場設営 ジュールの効率化を図				U I ~ \	刑惟C	叹名 •		
		•		左の財	源内部	1					
市业井			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源		
事業費	34, 933,	515									
			3, 795, 000	0		153, 470		30, 98	35, 045		

	款・項・目	10・4・3 目	名称 歴史民俗資料館費	<u> </u>		目の決算額	171,	247, 156				
205	事務事業名称 歴	E 史民俗資料	斗館管理運営事業						205			
	事業コスト(千円)	30, 717	【うち人件習	貴 15,115 う	ち減価値	賞却費 4,538		1				
	対象(何を、記	隹を対象とし	して)									
ナネツ	市民、市外から	らの来訪者										
目的	目指す成果(対象をどのようにしたいのか)											
	市民や市外のプ		の歴史や昔のくらしに	_		1						
		指標 		令和6年度実績	_	令和6年度記			单位			
評価 指標	改修工事・修繕	善、工事設訂	十 <u>監</u> 埋委託件数	2	2 /		2	2 件				
1日1末					/							
	1 歴史民俗資	조 보기 승규 · / - ★- 会			/							
	□ 円滑な資料館運営を図りました。 ■ 建物清掃、自家用電気工作物、空調機器、小荷物専用昇降機、自動ドア、非常通報装置、消防設備、											
	1		エ下物、エ媧版品、7 書庫、エレベーター、 ³						DX I/A 、			
)外在]失以而同	可心、电划管		言 岬 体件、コイン	ישונעו לי	、木切光未	1/3/X /	ξ.				
	2 歴史民俗資		官)施設改修									
			リ用ができるように、) 1	施設の計画的な改	修と設	備備品の更	新を図	りまし	. <i>t</i> = 。			
	また、空調機	幾改修工事、	外壁改修工事を実施	しました。					0			
	(1) 空調機改											
	(2) 外壁改修工事											
	(3) 各種施設	(3) 各種施設点検委託(建築基準法確認)										
実施	3 歴史民俗資料館(別館)施設管理											
内容	大倉公園内	内にある休憩	娘棟・管理棟を歴史民	俗資料館別館とし	て一体	的に運営す	ること	により	、本市			
	の歴史や文化	の歴史や文化財を紹介する事業の開催や、施設利用者の利便性の向上を図りました。										
		市民の財産	 『である文化財を収蔵	・保管する公の体	ひでな	リ 協設の組	作	理/十声	が宝施			
	妥当性評価	市民の財産するべき事		からり のない心	1X (00)	シ、心はひが	在1寸 目	年は印	⋈. 大心			
事業の		施設の適切			ること	で市民の文化	上財保	護音識	——— の高揚			
評価	有効性評価		文化の継承の促進に		<i>y</i>		אויאר	ᆙ	▼ Z I□I 1例			
	\$1. do 14. co /m	空調機やタ		 することにより. [:]	安全な	————— 施設利用及1	が適切	な収蔵	品管理			
	効率性評価		ができました。									
				左の財	源内部	₹						
車業弗			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源			
事業費	108, 019,	, 739										
			0	22, 300, 000		57, 275		85, 66	62, 464			

	款・項・目	10 • 4 • 4 E	∃名称 协員	 課後児童健全			T	目の決算額	146	476. 141		
206					月/队员			口切八并识	140,	170, 141	206	
200	事務事業名称 放課後児童健全育成事業 206 事業コスト(千円) 388,448 【うち人件費 231,529 うち減価償却費 13,491 】										200	
		*	1 7)	I J S A H	·貝 201,023	75	1	貝加貝 10,43	'1	1		
	対象(何を、誰を対象として)											
事業の 目的	小学生	サタナドの	L 7 /- I	+ 1. O h.								
	目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 異年齢のこどもたちとの遊びや集団生活を通して社会性、創造性が養われています。											
	異年齢のこと			団生沽を囲し						٠,	4.11	
	11-m// L = -1	指標			令和6年	度実績値	4/	令和6年度記			单位	
파쁘	放課後クラブの待機児童数					0	/		0	人		
7日1示	開設場所学校					100	/			%		
	地域ボランテ					17	/		7	団体		
	1 公設公営(民間委託)放課後クラブ 放課後クラブに勤務する指導員等の報酬等の引上げを行いました。											
	(1)クラブ数 R4年度∶9クラブ、27クラス R5年度∶9クラブ、28クラス R6年度∶9クラブ、28クラス											
	(2) 開設場	·所学校内割	合 R4年	:度:27クラス、1	00% R5年度	: 28クラス、	100%	R6年度∶2	8クラス、	100%		
	(3) 開設時	間 小学校	就学日	下校時から年	-後7時まで							
	それ以	外の日 午前	が8時から	午後7時まで	、長期休業期	期間早朝:	受入ね	τ 午前7時3	0分か	ら午前8	3時まで	
	(4) 休日	日曜日、国.	民の祝日	、12月29日な	いら1月3日ま	で						
	(5) 育成手数料 1か月 5,000円(3月及び7月は6,000円、8月は7,000円)											
	16日以降入所又は15日以前退所の場合、該当月の育成手数料は半額											
	早朝育成手数料 春休み、冬休み期間 500円、夏休み期間 1,500円 要保護、準要保護世帯無料											
	子ども子育て支援システムを改修し、口座振替で利用する金融機関の拡大を図りました。											
	(6) 対象児童 昼間就労等により保護者が家庭にいない小学校1年生~6年生の児童											
実施	ア 入所児童数(4月1日現在) R4年度:1,523人 R5年度:1,553人 R6年度:1,633人											
内容	待機	待機児童 R4年度:0人 R5年度:0人										
	イ 1クラ	イ 1クラス当たりの平均児童数 R4年度:56.4人 R5年度:55.5人 R6年度:58.3人										
	ウ 公設											
	(7) 研修等 指導員等研修:6回 指導員会議(各/ラブ):11回											
	主任指導員研修:6回 主任指導員運営会議:11回											
	(8) 地域ボランティア等との連携											
	地域ボ	ランティア	等を活用	 し、育成の頭	なる質的向	上を図り	しまし	た。連携	団体数	7 17団]体	
	地域ボランティア等を活用し、育成の更なる質的向上を図りました。 連携団体数 17団体 (9) 民間運営業務委託											
	(9) 氏间連呂未務安託 ア 共和西放課後クラブに加え、新たに大府放課後クラブの運営を民間事業者に業務委託し、地域											
	テ											
	等と連携して真の向上を図りました。 イ 大府放課後クラブにおいて、夏休み期間中の昼食提供を試行的に実施しました。											
			00 0	211077	11-11-12	17C 17 C 11-	VIJ.		0,20			
		 	が発生! ・	ないように受		スニレゖ	· E	問レ油惟し	ナンナミン	市が宇	拡せべ	
	妥当性評価	付機児里/		ないみ ノに図	.皿で笠脯り	@ _ ⊂ 1d	、、仄	川 C 迷伤し	みから	יווי, 🗲	ルピタイト	
声类の		旧辛の井書	囲然のウ		#日記士地/日	1 /诗人	女子	ナマフ - L.i	+ +	· ・ 足 の フ	女 て し	
事業の 評価	有効性評価			全・安心な居 有効です。	「場所を催保	し、健全	育队	を凶ること	よ、巾	氏の子	育(と	
!					送 = + 3 = -	10 35 45	# F5	1 # J=	L 77 ~	赤毛小	∧ J = 11	
	効率性評価			しながら、指 に運営を行い		児里釵、	米肍	人	(大次の	変動に	合わせ	
			1		0	左の財源	直内部	1				
			国间	見支出金	 地方儙		w L. 3 □/\	<u></u> その他	1	—— —般則	才 頂	
事業費	1/6 /7/	6 141	<u> </u>	N. A. H. W.	プロノJ [5	+		2, 345, 960	+	川又只	1 11/1/	
	146, 476, 141		71	001 000						70 00	00 201	
\	<u> </u> ≜Nn 145		/1	, 901, 800		0 (、基金	1, 985, 960		-	28, 381	

	款·項·目 10·4·4 目名称 <mark>放課後児童健全育成費</mark>	1
06	事務事業名称 放課後児童健全育成事業	206
	事業コスト(千円)	
	2 民設民営放課後児童クラブ	
	民設民営放課後児童クラブ(3クラブ)が実施する事業について補助金を交付しました。また	
	放課後児童支援員を2人以上配置した場合に補助金を上乗せするとともに、放課後児童支援員	等に対
	る処遇改善等のための補助金を交付しました。	
	大府どろんこクラブ(25人)14,268千円、神田わんぱくクラブ(29人)14,029千円、キッズクラブ(50人)93 放課後クラブ開所時間の延長(基金1,985,960円充当)), 897+
	3 放課後クラブ開所時間の延長(基金1,985,960円充当) 放課後クラブを午後8時まで延長しました。延長利用者数 R4年度∶5人 R5年度∶8人 R6年	: 唐 · ∕1 从
	放床後グラクを「後0時まで建設しました。建設利用省数 14年度・3人 110年度・3人 110年	·/文· • 八
€施 内容		

	款・項・目	10・5・1 目	名称 保健体育総務費	·	Т	目の決算額	57,	750, 655					
207	事務事業名称 生	主涯スポーツ					207						
	事業コスト(千円)	21, 417	【うち人件	- 費 15,923 う	ち減価値	賞却費 617]					
	対象(何を、詞	誰を対象とし	して)										
事業の	市民												
目的		対象をどのよ	にしたいのか)										
	生涯スポーツの	の普及を通し	して、健康的な生活の	D充実が図られてい	ます。								
	指標名			令和6年度実績·	直/	令和6年度計	度計画値 単位						
評価	レクリエーショ	ョンスポーツ	リ大会参加者数	2, 120) /	3,	500	人					
指標	ニュースポーソ	ツ教室等開催		34	1 /		30	回					
					/								
	1 各種大会の	 の開催											
	ニュースフ	ポーツ大会	R4年度 6	回 1,366人、R5年度	Ę 18[回 1,788人、							
		ニュースポーツ大会 R4年度 6回 1,366人、R5年度 18回 1,788人、 R6年度 18回 1,744人											
	とうちゃん	んソフトボー	-ル大会 R4年度 3		4回 5	82人、R6年月	隻 2[回 376,	, Ι				
			§員会の運営と活動の										
	(1) 委員の[内訳(大府4	人、神田4人、北山3	人、東山3人、共長	2人、i	吉田4人、石	ヶ瀬3.	人					
	学識経験を	者1人 計24	人)※令和4年度から	。 ラコミュニティごと	の人数	に変更							
	(2) 定例会詞	学識経験者1人 計24人)※令和4年度からコミュニティごとの人数に変更 (2) 定例会議の開催 (11回)											
	(3) 各種大会の企画、運営(ペタンク大会・ミニテニス大会)												
	(4) 各種イベントの企画、運営(ノルディック・ウォーク体験会・ミニテニス体験会・												
	モルック体験会)												
	(5)機関紙「ふぁいと」の発行												
実施	(6) 地域への各種スポーツの普及と指導「体験教室・出前講座」												
内容	(0) 地域への存住スポープの自及と指導「体験教室・山前講座」 R4年度 実施なし、R5年度 11回 202人、R6年度 15回 940人												
	(7) ニュースポーツフェスタの開催 R4年度 89人、R5年度 149人、R6年度 211人												
	3 指導者講習	習会の開催											
	ニュースフ	ポーツ等の審	審判講習会の開催及 で	ド各種研修会の開催									
	R4年度 8	ニュースポーツ等の審判講習会の開催及び各種研修会の開催 R4年度 8回、R5年度 10回、R6年度 10回											
	R6年度の開催内容:ミニテニス、インディアカ、ペタンク等												
	4 総合型地域スポーツクラブ(OBUエニスポ)の活動支援												
	R4年度末会員数1,050人、R5年度末会員数1,149人、R6年度末会員数1,158人(一般、賛助会員)												
	市民を対象	象に本教室4	1種目を開催										
	5 eスポーツ												
	地域間交流イベントの開催 (11/25) 参加者数26人												
	espoいした	がせ開設2周	年記念eスポーツ交流	流会の開催 (3/1)	参加者	者数38人							
	妥当性評価		、のライフステージに					を整備	するこ				
	メコロ計画	とは生涯に	:渡るスポーツの推進 	に必要であり、市	が実施	すべき事業で	です。 						
事業の	有効性評価	モルックや	Peスポーツ等の新し	い取組を積極的に展	開する	ることにより	、早期	明に市員	えに普				
評価	ᄓᄱᄔᇚ	及・定着さ	せる必要があります	•									
	効率性評価		進委員や総合型地域	ー はスポーツクラブ等。	との連	携で、教室等	手の効	率的な	運営を				
	~~ □ □ □ □ □	図りました											
			-	左の財	源内訴								
事業費			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源				
, , , , ,	4, 814,	487											
			0	0		0		4, 81	14, 487				

款・項・目 10・5・1 目名称 保健体育総務費 目の決算額 57, 750, 655 208 208 事務事業名称 閲競技スポーツの推進事業 うち減価償却費 481 事業コスト(千円) 33, 116 【うち人件費 13,210 1 対象 (何を、誰を対象として) 市民 事業の 目的 目指す成果 (対象をどのようにしたいのか) スポーツ協会への加盟や大会参加の促進により、競技スポーツの振興が図られています。 指標名 令和6年度実績値 / 令和6年度計画值 単位 スポーツ大会開催数 104 110 回 評価 指標 77 スポーツ教室開催数 23 教室 優秀選手への激励金交付数 199 175 件 スポーツ大会の開催 R5年度 回数(人数) Oするスポーツ R4年度 回数(人数) R6年度 回数(人数) 大府シティ健康マラソン大会 1 (1,680) 1 (2,624) 1 (2, 971 20 (3, 753) 20 (3, 939 スポーツ協会会長杯 19 (3, 475 18 (3, 356) 18 (3.391 市長杯 18 (3, 364 市民体育大会 19 (4, 240) 20 (4, 218) 20 (4, 453 スポーツ協会加盟団体各種大会 38 (4.878 41 (5, 176) 37 (4.988 2 (スポーツ少年団各種大会 280 6 (1, 185) 1, 297 6 (その他大会 2 (255) 2 (116) 2 (119 99 (18, 172) 108 (20, 428) 104 (21, 158 実施なし ○観るスポーツ 実施なし 2 (880) R6年度 するスポーツ その他大会 (愛知駅伝、大府市長杯レスリング大会) スポーツ協会加入団体数 実施 内容 R4年度 298団体、R5年度 289団体、R6年度 312団体 スポーツ教室の開催 教室数(参加人数) R4年度 R5年度 R6年度 スポーツ協会加盟競技部 27 (1, 755) 40 (1, 911) 61 (1, 914) 15 (1,516) | 18 (1,373) 16 (1, 459) 大府市民球場オープン1周年を記念した野球教室(12月)及びソフトボール教室(1月)を開催 しました。 団体・個人 優秀選手への激励金交付 R4年度 R5年度 R6年度 種 世界、アジア大会出場 0 -21 0 25 0 24 全国大会出場 111 145 168 愛媛県新居浜市とのバドミントン交流 愛媛県新居浜市に訪問し、両市小学生代表チームによるバドミントン交流を行いました。 多様化する市民のスポーツニーズに対応した各種スポーツ大会の開催や、実技指導教室 妥当性評価 の開催は、競技スポーツの推進に不可欠であり、市が実施すべき事業です。 事業の プロスポーツチームや学校と連携して積極的に教室を開催することができ、競技力の向 有効性評価 評価 上や競技人口の底辺拡大につなげています。 各種大会や教室の運営をスポーツ協会が行うことにより、効率的に事業を推進すること 効率性評価 ができました。 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費 19, 376, 266 1.700.000 0 0 (基金1.698.852) 17, 676, 266

	款・項・目	10・5・2 目	名称 体育施設費			目の決算額	439, (094, 568		
209	事務事業名称	スポーツ施設	—— ■ 设整備事業		•				209	
	事業コスト(千円)	79, 218	【うち人件	費 3,216 う	ち減価値	賞却費 74,69	3]		
	対象(何を、詞	准を対象とし	して)							
事業の	スポーツ施設	(社会体育的	施設、学校体育施設)							
目的										
			ょうにしたいのか) るスポーツの場として	提供されています	0					
		 指標	名	令和6年度実績	値 /	令和6年度計	+画値	単	单位	
評価	整備施設数				5 /		4	施設		
指標					/					
					/					
実内施容	1 安全で安心して快適にスポーツ活動ができるように、スポーツ施設の計画的な改修や整備を行いました。 (1) 防球ネット増設工事実施設計委託(市営グラウンド)施設の安全性向上を図るため、防球ネット増設の設計を行いました。 委託費 2,255,000円 (2) 送排風機等改修工事(メディアス体育館おおぶ)施設の換気・空調機能等の維持を図るため、送排風機を改修しました。 工事費 54,439,000円 (3) 防火ダンパーメンテナンス用扉設置工事(メディアス体育館おおぶ)防火ダンパーのメンテナンス用扉設置工事(メディアス体育館おおぶ)防火ダンパーのメンテナンス性の向上を図るため、メンテナンス用扉を設置しました。工事費 1,760,000円 (4) 1階廊下床改修工事(メディアス体育館おおぶ)施設の安全性と美観の維持を図るため、1階廊下床のシートを張替えました。工事費 6,039,000円 (5) 照明設備(しED化)更新工事(メディアス体育館おおぶ)しED化による電力消費量の削減を図るため、廊下、事務室、駐車場等の照明を更新しました。工事費 49,280,000円 (6) 外壁屋根防水工事(ナルキュウ体育センター)外壁屋根の防水機能の維持を図るため、外壁屋根の塗装を行いました。工事費 59,400,000円 (7) 防球ネット増設工事(市営グラウンド)【スポーツ振興くじ助成金活用】施設の安全性向上を図るため、防球ネットを増設しました。 工事費 38,940,000円 (8) 夜間照明更新工事(ナルキュウテニスコート)利用者の安全性確保、LED化による電力消費量の削減等を図るため、夜間照明を更新しました。工事費 26,939,000円 2 大東小学校プール跡地をスケートボードパークとして活用するための設計を行いました。(1) スケートボードパーク設計委託(大東小学校)委託費 1,606,000円									
	妥当性評価		。要望のあったメディ をにとって必要であり				うこと	は、地	域のス	
事業の 評価	有効性評価		- - 支障のあった施設の うことができました。	修繕を行うことで、	. 地域	住民の健康で	ごくり	や体力	づくり	
	効率性評価		ッンド防球ネット増設 同に整備を実施するこ		ポーツ	振興くじ助原	 龙金を	- <u>-</u> 活用す	ること	
				左の財	源内訳	<u> </u>				
市业出			国県支出金	地方債		その他		一般則	才源	
事業費	289, 430, 900		0	44, 500, 000	6	4, 772, 900		180, 15	58, 000	

款・項・目 10・5・2 目名称 体育施設費 目の決算額 439, 094, 568 210 210 事務事業名称スポーツ施設運用事業 うち減価償却費 1,204 事業コスト(千円) 160, 062 【うち人件費 9,254 1 対象 (何を、誰を対象として) 社会体育施設、学校体育施設、民間体育施設 事業の 目的 目指す成果 (対象をどのようにしたいのか) 市民に身近で幅広く利用できるスポーツの場として、適正に管理運用され提供されています。 指標名 令和6年度実績値 / 令和6年度計画值 単位 スポーツ施設数 32 31 |箇所 評価 指標 スポーツ施設利用者数 578. 198 620,000 人 スポーツ施設修繕・更新数 73 50 件 1 社会体育施設の管理運営 (1) 指定管理者(大府市スポーツ協会・大府市総合型地域スポーツクラブOBUエニスポ共同体)による スポーツ施設の管理運営(屋内施設2か所 屋外施設8か所) ※1:横根グラウンド R4 **R**5 R6 施設名 利用状況 横根多目的グラウンド メディアス体育館おおぶ 利用者数(人) 189,054 173,446 206.756 吉田多目的グラウンド 屋内 施設 ナルキュウ体育センター 利用者数(人) 18, 066 20, 623 20, 147 米田多目的グラウンド グラウンド※1 利用者数(人) 53, 737 65. 412 67. 222 石ヶ瀬多目的グラウンド 屋外 施設 37, 098 44, 801 30, 184 |テニスコート※2|利用者数(人) 横根フットサルコート |利用者数(人) | 297, 955 | 304, 282 | 324, 309 | ※2:ナルキュウテニスコート (2) 直営や地域との協定によるスポーツ施設の管理運営 東新テニスコート 市営グラウンド、桜木多目的広場、長草多目的広場 (3) 大府市民球場の管理運営 利用者数 18,173人 (メイングラウンド 12,761人、ウォーミングアップグラウンド 2,706人、 実施 内容 室内練習場 2.706人) 2 学校体育施設の開放 9小学校(運動場、体育館)、4中学校(テニスコート、体育館、武道場)、3高校(運動場、テニス 学校区分 利用状況 R4 R5 R6 小学校(9) 利用者数(人) 170. 838 178. 469 172. 059 53, 735 中学校(4) 利用者数(人) 56, 163 58, 951 高校(3) 3.294 3.732 3,036 利用者数(人) 利用者数(人) 227,867 238,364 234,046 合 計 民間体育施設の活用 3 施設名 利用状況 R4 R5 R6 ___ 至学館大学グラウンド 利用者数(人) 194 398 328 住友テニスコート 利用者数(人) 381 1.424 1.342 市民がスポーツを身近にできるように、社会体育施設のほかに学校体育施設や民間体育 妥当性評価 施設の開放を行うことは、スポーツの推進に必要であり、市が実施すべき事業です。 事業の 市営テニスコートの夜間照明の改修により、市営テニスコートの利用人数は減少しまし 有効性評価 評価 たが、市民球場のリニューアルオープンにより全体の利用者数は増加しました。 指定管理者制度の導入により、効率的な施設運用ができました。 効率性評価 左の財源内訳 国県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費 149, 663, 668 114, 034, 178 0 0 35, 629, 490

	款・項・目	10 • 5 • 2	目名称	体育施設費		
210						
	事業コスト(千円)					

4 スポーツ施設用地の確保

市民のスポーツの場の確保のため、民有地を借用してスポーツ施設として活用しました。 民有地借用のスポーツ施設 横根グラウンド、横根多目的グラウンド、横根フットサルコート、 石ヶ瀬多目的グラウンドほか駐車場用地 計50,851㎡

- 5 スポーツ施設の改修等
 - (1) 社会体育施設の整備、改修及び修繕を行いました。

メディアス体育館おおぶ等の設備備品の修繕及び更新

施設名	件数	主な内容
メディアス体育館おおぶ	29	天井漏水修繕
ナルキュウ体育センター	6	ガラス修繕
その他スポーツ施設	23	防塵ネット修繕
計	58	

(2) 学校開放施設の修繕を行いました。

施設名	件数	主な内容
グラウンド	2	神田小学校グラウンド夜間照明修繕
体育館	13	北山小学校体育館バレーボールコートライン修繕
計	15	

実施 内容

主要事業No. 29 主要事業No. 29

	款・項・目	10・5・3 目	名称 学校給食費		Т	目の決算額 1	, 116, 4	474, 670				
211	事務事業名称 学								211			
	事業コスト(千円) 693,163 【うち人件費 83,881 うち減価償却費 12,342 】											
	対象(何を、記	推を対象とし	して)									
車業の	児童生徒	•	,									
目的	元里生促 目指す成果 (対象をどのようにしたいのか)											
	全ての児童生徒が、良質で美味しい学校給食の提供を受け、心身共に健やかに成長しています。											
	指標名			令和6年度実績値	直/	令和6年度計	·画値	単	单位			
마다	残食率(小学校	1	/		0. 5	%						
	残食率(中学校	·····································		0. 3	/		0. 2	%				
					/							
	1 給食室の約	維持管理		<u> </u>								
	衛生的で安全な給食を提供するため、必要な修繕や備品(真空冷却機等)の更新を行いま											
	2 衛生管理											
	(1) 給食調理	理員、栄養教	数論対象の検便検査、	食品検査、給食室内	内の衛	生検査を実施	もしま	こした。				
	(1) 給食調理員、栄養教諭対象の検便検査、食品検査、給食室内の衛生検査を実施しました。 検便:サルモネラ菌、赤痢菌、0-157検査(月2回)、ノロウイルス検査(10月から3月に月1回)											
	食品検査	查:微生物核	食査(年2回) 衛生	上 上検査:大府小、石	ヶ瀬/	J\						
	食品検査:微生物検査(年2回) 衛生検査:大府小、石ヶ瀬小 (2)経年劣化した食器を更新しました。(大東小学校、北山小学校、大府中学校)											
	(3) 給食室の消毒、清掃を行い、適正な衛生環境を保ちました。											
	消毒(ねずみ及び害虫駆除)・トラップの点検・交換(月1回)、薬剤散布(年1回)、											
	維排水槽内清掃(年2回)											
	3 給食調理員研修の実施											
	給食調理員に必要とされる衛生管理や調理技能、食物アレルギーに関する知識等の習得のため、											
実施	研修を2回実施しました。(7月19日、12月25日)											
内容	4 食物アレルギー対応給食調理員の配置											
	学校給食の	学校給食の食物アレルギー対応として、除去食や代替食の調理に専任で従事する食物アレルギー										
	対応給食調理員を全小中学校に配置しました。											
	5 食物アレルギー対応委員会の開催											
	学校給食における食物アレルギー対応の方針を検討するとともに、児童生徒の学校給食における											
	食物アレルギー対応に関する専門的な役割を果たすため、食物アレルギー対応委員会を開催しまし											
	t=.											
	食物アレルギー対応委員会の開催: R7. 2. 25開催											
	6 学校給食のPR及び食育の推進											
	(1) 食育に関する情報を記載した学校給食の献立表や食育だよりを毎月発行し、また、学校給食の											
	レシピを市公式ウェブサイトで紹介しました。											
	(2) 保護者代表、学校関係者等を対象に学校給食・食育への理解を深める機会として、給食教室及											
	び給食懇詞	淡会を開催し	しました。(R6.11.27	共長小学校)								
	妥当性評価		・食育基本法に基づ			全な発達のた	めに	安全で	安心な			
	~ - I-HI IM	字校給食を	提供することは、市	か実施すべき事業で	ごす 。							
事業の	有効性評価		よる安全、安心で良									
評価		身につける	せ、食を大切にする	いを再むなと、食育	が推	進を凶ること	かで	さまし	<i>1</i> こ。			
	効率性評価	会計年度任	E用職員の活用を図る	ことで、経費の節洞	ずを図 しょうしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん か	っています。						
				+ 5 11	ᇠᅭᆕ	1						
			国旧士山本	左の財派	原内部		1	ຄົກ ¤	+派			
事業費	1 116 47	4 670	国県支出金	地方債		その他	\vdash	一般則	1 //尔			
	1, 116, 474	4, 0/U	000 000	_	00	7 700 750		000 4-	71 010			
			293, 000	0	30	7, 709, 752		ชบช, 4 <i>1</i>	71, 918			

	款・項・目	10・5・3 目名称 学校給食費				
211	事務事業名称 学校給食運営事業					
	事業コスト(千円)					

7 給食残菜のリサイクル化への取組

給食の残菜をバイオガス発電施設に搬入し、エネルギー源として活用することにより、CO2排出量削減への取組を推進しました。 R6搬入量:30Lサイズ1,277袋、45Lサイズ2,632袋

8 小学校学校給食費の保護者負担の軽減及び中学校学校給食費の無償化

物価高騰等の影響を受けている食材費について、学校給食費の値上げが必要とされる状況においても、生活費の負担が増している保護者の負担軽減を図るため、学校給食費を据置きし、不足する食材費を公費で負担して、質や量を落とすことなく学校給食を提供するとともに、学校教育費や学校外での活動費がより増加する市内中学校においては、学校給食費を無償化しました。

公費負担額:小学校 4月~9月 1食あたり30円、10月~11月 1食あたり56円、

12月~ 1食当たり60円

学校給食費無償化:中学校 令和6年1月~

9 大府市学校給食費無償化基金の設立

学校給食費の無償化を実施し、保護者の経済的負担の軽減及び子育て支援の充実を図るため、 大府市学校給食費無償化基金を設立しました。

基金積立額 R6年度:500,000,000円

実施 内容

主要事業No. 153 主要事業No. 153